VIII　資格

教養学部では、必要な単位を修得することで、教育職員免許状（教免）の申請資格及び学芸員の資格を取得することができます。それぞれの資格の詳しい取得方法については、以下を参照してください。

１．教育職員免許状（教免）

卒業までに所定の単位を修得すると、中学校教諭１種免許状（国語・社会・外国語（英語））、高等学校教諭１種免許状（国語・地理歴史・公民・外国語（英語））の申請資格を取得することができます。

あくまでも申請資格なので、申請手続きを経なければ、教免は取得できません。

教免申請資格の取得希望者は、４月に行われる教免ガイダンスに毎年必ず出席してください。
また、２年次の４月以降に教免の種類を変更・取り下げる場合は、必ず教養学部係に申し出てください。

（１）教免申請資格取得に必要な科目

教免申請資格を得るためには、以下の（ａ）～（ｃ）の科目を修得することが必要です。

（ａ）教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目
- 「日本国憲法」２単位
- 「体育」２単位
- 「外国語コミュニケーション」２単位
- 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目　又は　情報機器の操作」２単位

（ｂ）教職に関する専門科目
- 中学校教免を取得する場合には合計36単位
- 高等学校教免を取得する場合には合計28単位

（ｃ）教科に関する専門科目
- 中学校教免を取得する場合には各教科に関する科目を合計27単位以上
- 高等学校教免を取得する場合には各教科に関する科目を合計35単位以上

このうち、（ｂ）の「教職に関する専門科目」は卒業に必要な124単位には含まれません。
それぞれの科目の履修方法の詳細については、「（８）教免申請資格取得に必要な科目の履修方法」を参照してください。

（２）履修カルテ

２年次に配付される履修カルテには、教免取得に必要な上記（１）の（ｂ）の科目の履修状況を記入し、２～４年次の４月と卒業前に取得希望教科の教職委員による確認を受けてください。
なお、このカルテは卒業時まで必要になります。

（３）介護等体験

中学校教免の取得には介護等体験７日間（社会福祉施設等５日間、特別支援学校２日間）が義務づけられています。申請は２年次の第３・４ターム中の定められた募集期間内に受け付け、３年次に体験します。

申請時期・申請条件は【別表１】を確認してください。申請条件を満たしていない学生については、申請を受け付けません。

なお、介護等体験に伴う費用は学生の負担になります。

（４）教育実習

教育実習を行う教科は、教免取得を希望する教科です。申請は３年次の４月に受け付け、４年次に実習します。

申請時期・申請条件は【別表１】を確認してください。申請条件を満たしていない学生については、申請を受け付けません。

なお、教育実習に伴う費用は学生の負担になります。

（５）編入生・転学部生の場合

３年次編入生・転学部生が教免の取得を希望する場合、【別表１】の申請条件を満たす学生について定められた申請時期に介護等体験、教育実習の希望申請を受け付けます。

（６）留学する学生の場合

協定校で単位修得を伴う留学をしつつ、教免の取得を希望する場合、隔年開講の科目などに留意のうえ、１年次から計画的に必要な科目を履修してください。留学の後、【別表１】の申請条件を満たす学生について、定められた申請時期に介護等体験、教育実習の希望申請を受け付けます。

【別表１】

		申請時期	申請条件			
			(a)	(b)	(c)	(a)(b)(c)の合計単位数
介護等体験		２年次 第3・4ターム	６単位以上	１０単位以上		
	編入生・転学部生	第3・4ターム	４単位以上	１０単位以上	１０単位以上	３０単位以上
	協定校で単位修得を伴う留学をおこなう学生	第3・4ターム	４単位以上	１０単位以上	１０単位以上	３０単位以上
教育実習		３年次　４月	８単位	１６単位以上	１０単位以上	３８単位以上
	編入生・転学部生	４月	４単位以上	１０単位以上	１０単位以上	３０単位以上
	協定校で単位修得を伴う留学をおこなう学生	４月	４単位以上	１０単位以上	１０単位以上	３０単位以上

※　(b)(c)については、実習をおこなう教科に必要な単位を修得してください。

（７）介護等体験・教育実習申請の特例

（３）～（６）について、定められた年次までに希望申請の要件を満たせなかった場合は、要件を満たした後の定められた募集期間に、それぞれの希望申請を受け付けます。

（８）教免申請資格取得に必要な科目の履修方法

ここでは、「（１）教免申請資格取得に必要な科目」に挙げられた（ａ）（ｂ）（ｃ）それぞれの科目の教養学部における履修方法を説明します。

（ａ）教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修方法

66条の6に定める科目	授業科目（教養・スキル・リテラシー科目）	必要単位数
日本国憲法	「市民と憲法」	2
体育	「スポーツ実技」	2
外国語コミュニケーション	下記のいずれか 「英語Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」 「中国語Ⅰ」「韓国語Ⅰ」「ロシア語Ⅰ」 「イタリア語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は　情報機器の操作	「情報基礎」	2

※　科目によっては、学部等によるクラス指定があるので、履修登録の際にシラバス、時間割をよく確認してください。

※　抽選となる科目がありますので、計画的に履修してください。

（ｂ） 教職に関する専門科目

教養学部生向けに開講されている教職に関する専門科目、単位数、修得年次は以下のとおりです。

免許法施行規則等に定める科目区分等		中学校教諭1種免許状			高等学校教諭1種免許状			修得年次
		開設授業科目		単位	開設授業科目		単位	
教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語	国語科指導法A･B･C･D	8	国語	国語科指導法C･D	4	2～3 ※1
		社会	社会科指導法A･B（地理歴史科）	8	地理歴史	社会科指導法A･B（地理歴史科）	4	
			社会科指導法A･B（公民科）		公民	社会科指導法A･B（公民科）	4	
		外国語（英語）	英語科指導法A･B･C･D	8	外国語（英語）	英語科指導法C･D	4	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説A（本質）		2	教育学概説A（本質）		2	1～2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門Ⅰ		2	教職入門Ⅰ		2	1～2
		教職入門Ⅱ		1	教職入門Ⅱ		1	3
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育学概説B（制度）		2	教育学概説B（制度）		2	1～2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説		2	教育心理学概説		2	1～2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論		1	特別支援教育基礎論		1	2～3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育方法・課程論 ※教育の方法及び技術とあわせて開講						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論		2				2～3
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習指導法		1				1～2
	総合的な探求の時間の指導法				総合的な学習指導法		1	1～2
	特別活動の指導法	特別活動論		1	特別活動論		1	1～2
	教育の方法及び技術	教育方法・課程論		2	教育方法・課程論		2	2～3
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と実践		1	ICT活用の理論と実践		1	1～2
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論		2	生徒・進路指導論		2	2～3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談		2	教育相談		2	2～3
教育実践に関する科目	教育実習	基礎実習 ※2		1	基礎実習 ※2		1	3～4
		応用実習Ⅰ ※3		4				4
					応用実習Ⅱ ※3		2	4
	教職実践演習	教職実践演習		2	教職実践演習		2	4
総計				36			28	

※1 国語科指導法Dは2年次での履修不可。

※2 基礎実習は、「基礎実習（事前指導）」と「基礎実習（事後指導）」の2科目を受講してあわせて1単位です。

※3 中学校の教免取得を希望する場合は4週間の「応用実習Ⅰ」を、高等学校の教免取得を希望する場合は2週間の「応用実習Ⅱ」を履修してください。

中学校の教免と高等学校の教免を同時に取得することを希望する場合は、「応用実習Ⅰ」の単位を中学校での実習により修得してください。

（ｃ）教科に関する専門科目

各教科の教科に関する専門科目は以下のとおりです。

指定科目（必修科目と選択必修科目）を確認の上、免許状取得必要単位数を修得してください。

国語

教科に関する科目（区分）	教養学部開設対象科目と指定科目	単位	中学校	高等学校
			選択必修区分	
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	**音声言語・文章表現**	**2**	**必修**	
	日本語学概説Ａ	**2**	**１科目以上選択必修**	
	日本語学概説Ｂ	**2**		
	日本語学研究法	2		
	日本語教育学研究法	2		
	日本語の文法	2		
	日本語の歴史	2		
	日本語学演習Ⅰ	2		
	日本語学演習Ⅱ	2		
	日本語学演習Ⅲ	2		
	日本語学演習Ⅳ	2		
	日本語学演習Ⅴ	2		
	日本語学演習Ⅵ	2		
	日本語教育学演習Ⅰ	2		
	日本語教育学演習Ⅱ	2		
	日本語教育学演習Ⅲ	2		
	日本語教育学演習Ⅳ	2		
	日本語教育学演習Ⅴ	2		
	日本語教育学演習Ⅵ	2		
国文学（国文学史を含む。）	**日本古典文学史**	**2**	**必修**	
	日本近現代文学史	**2**	**必修**	
	日本文学概説Ａ	**2**	**１科目以上選択必修**	
	日本文学概説Ｂ	**2**		
	日本古典研究法	2		
	日本近現代文学研究法	2		
	日本古典演習Ⅰ	2		
	日本古典演習Ⅱ	2		
	日本古典演習Ⅲ	2		
	日本古典演習Ⅳ	2		
	日本古典演習Ⅴ	2		
	日本古典演習Ⅵ	2		
	日本近世文学演習Ⅰ	2		
	日本近世文学演習Ⅱ	2		
	日本近世文学演習Ⅲ	2		
	日本近世文学演習Ⅳ	2		
	日本近世文学演習Ⅴ	2		
	日本近世文学演習Ⅵ	2		
	日本近現代文学演習Ⅰ	2		
	日本近現代文学演習Ⅱ	2		
	日本近現代文学演習Ⅲ	2		
	日本近現代文学演習Ⅳ	2		
	日本近現代文学演習Ⅴ	2		
	日本近現代文学演習Ⅵ	2		
漢文学	**中国古典原典講義**	**2**	**必修**	
	中国古典演習Ⅰ	2		
	中国古典演習Ⅱ	2		
	中国古典演習Ⅲ	2		
	中国古典演習Ⅳ	2		
	中国古典演習Ⅴ	2		
	中国古典演習Ⅵ	2		
	中国古典研究法	2		
書道（書写を中心とする。）	**書道（書写）Ａ（教育学部開設）**	**2**	**１科目以上選択必修**	
	書道（書写）Ｂ（教育学部開設）	**2**		
免許状取得必要単位数			27	35

外国語（英語）

教科に関する科目（区分）	教養学部開設対象科目と指定科目	単位	中学校	高等学校
			選択必修区分	
英語学	**英語学概説Ａ**	**2**	**１科目以上選択必修**	
	英語学概説Ｂ	**2**		
	Language Analysis Ⅰ	2		
	Language Analysis Ⅱ	2		
	Language Analysis Ⅲ	2		
	Language Analysis Ⅳ	2		
英語文学	**アメリカ文学概論**	**2**	**必修**	
	イギリス文学史Ａ	**2**	**１科目以上選択必修**	
	イギリス文学史Ｂ	**2**		
	イギリス文化特殊講義Ⅲ	2		
	イギリス文化特殊講義Ⅳ	2		
英語コミュニケーション	**Integrated English Skills (Writing)ⅡＡ**	**1**	**必修**	
	Integrated English Skills (Writing)ⅡＢ	**1**	**必修**	
	Integrated English Skills (Communication)ⅠＡ	**1**	**１科目以上選択必修**	
	Integrated English Skills (Communication)ⅠＢ	**1**		
	Integrated English Skills (Reading)ⅢＡ	**1**	**１科目以上選択必修**	
	Integrated English Skills (Reading)ⅢＢ	**1**		
	研修英語	2～4		
異文化理解	**アメリカ社会概論**	**2**	**必修**	
	British Studies Ⅰ	**2**	**１科目以上選択必修**	
	British Studies Ⅱ	**2**		
	アメリカ研究入門Ａ	2		
	アメリカ研究入門Ｂ	2		
	アメリカ史概論Ⅰ	2		
	アメリカ史概論Ⅱ	2		
	イギリス文化特殊講義Ⅰ	2		
	イギリス文化特殊講義Ⅱ	2		
	アメリカ研究演習Ⅰ	2		
	アメリカ研究演習Ⅱ	2		
	アメリカ研究演習Ⅲ	2		
	アメリカ研究演習Ⅳ	2		
	アメリカの文化と社会演習Ⅰ	2		
	アメリカの文化と社会演習Ⅱ	2		
	アメリカの文化と社会演習Ⅲ	2		
	アメリカの文化と社会演習Ⅳ	2		
免許状取得必要単位数			27	35

社会

教科に関する科目（区分）	教養学部開設対象科目と指定科目	単位	中学校 選択必修区分
日本史・外国史	**日本史概説Ａ**	**2**	**必修**
	東洋史概説Ａ	**2**	**必修**
	西洋史概説Ａ	**2**	**必修**
	西洋史概説Ｂ	2	
	西洋史概説Ｃ	2	
	考古学概説	2	
	歴史学研究法Ａ	2	
	歴史学研究法Ｂ	2	
	歴史学研究法Ｃ	2	
	考古学研究法	2	
	近現代日本の政治と社会Ⅰ	2	
	近現代日本の政治と社会Ⅱ	2	
	近世日本の社会と文化Ⅰ	2	
	近世日本の社会と文化Ⅱ	2	
	近代アジアの国家と社会Ⅰ	2	
	近代アジアの国家と社会Ⅱ	2	
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅰ	2	
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅱ	2	
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅰ	2	
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅱ	2	
	東アジア考古学Ⅰ	2	
	東アジア考古学Ⅱ	2	
地理学（地誌を含む。）	**地理学入門**	**2**	**必修**
	ヨーロッパ地誌	2	
	東アジア地誌	2	
	自然地理学	2	
	地誌学	**2**	**必修**
「法律学、政治学」	**憲法（経済学部開設）**	**2**	**１科目以上選択必修**
	政治学（経済学部開設）	**2**	
	国際政治学入門	2	
	国際法学入門	2	
	国際政治経済学入門	2	
	国際政治学概論	2	
	国際法学概論	2	
	国際政治経済学概論	2	
	グローバル・ガバナンス論	2	
	国際紛争の平和的解決	2	
	条約法	2	
	分裂した世界における人権	2	
「社会学、経済学」	**社会学入門**	**2**	**必修**
	国際開発学入門	2	
	国際開発政策論	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	**哲学史概説Ａ**	**2**	**１科目以上選択必修**
	哲学史概説Ｂ	**2**	
	哲学基礎Ａ	**2**	
	哲学基礎Ｂ	**2**	
	哲学研究法Ａ	2	
	哲学研究法Ｂ	2	
	哲学研究法Ｃ	2	
	哲学研究法Ｄ	2	
	哲学研究法Ｅ	2	
	哲学研究法Ｆ	2	
	倫理学Ⅰ	2	
	倫理学Ⅱ	2	
	倫理学Ⅲ	2	
免許状取得必要単位数			27

地理歴史

教科に関する科目（区分）	教養学部開設対象科目と指定科目	単位	高等学校 選択必修区分
日本史	**日本史概説Ａ**	**2**	**必修**
	歴史学研究法Ａ	2	
	近現代日本の政治と社会Ⅰ	2	
	近現代日本の政治と社会Ⅱ	2	
	近世日本の社会と文化Ⅰ	2	
	近世日本の社会と文化Ⅱ	2	
	日本史演習Ⅰ	2	
	日本史演習Ⅱ	2	
	日本史演習Ⅲ	2	
	日本史演習Ⅳ	2	
	日本史演習Ⅴ	2	
	日本史演習Ⅵ	2	
	日本史演習Ⅶ	2	
	日本史演習Ⅷ	2	
外国史	**東洋史概説Ａ**	**2**	**必修**
	西洋史概説Ａ	**2**	**必修**
	西洋史概説Ｂ	2	
	西洋史概説Ｃ	2	
	考古学概説	2	
	歴史学研究法Ｂ	2	
	歴史学研究法Ｃ	2	
	考古学研究法	2	
	近代アジアの国家と社会Ⅰ	2	
	近代アジアの国家と社会Ⅱ	2	
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅰ	2	
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅱ	2	
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅰ	2	
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅱ	2	
	東アジア考古学Ⅰ	2	
	東アジア考古学Ⅱ	2	
	東洋史演習Ⅰ	2	
	東洋史演習Ⅱ	2	
	東洋史演習Ⅲ	2	
	東洋史演習Ⅳ	2	
	西洋史演習Ⅰ	2	
	西洋史演習Ⅱ	2	
	西洋史演習Ⅲ	2	
	西洋史演習Ⅳ	2	
	西洋史演習Ⅴ	2	
	西洋史演習Ⅵ	2	
	西洋史演習Ⅶ	2	
	西洋史演習Ⅷ	2	
	考古学演習Ⅰ	2	
	考古学演習Ⅱ	2	
	考古学演習Ⅲ	2	
	考古学演習Ⅳ	2	
人文地理学・自然地理学	**地理学入門**	**2**	**必修**
	自然地理学	2	
	都市地理学	2	
	農村地理学	2	
	文化地理学	2	
	歴史地理学	2	
	地理学総合演習Ⅰ	2	
	地理学総合演習Ⅱ	2	
地誌	**地誌学**	**2**	**必修**
	ヨーロッパ地誌	2	
	東アジア地誌	2	
免許状取得必要単位数			35

公民

教科に関する科目 （区分）	教養学部開設対象科目と指定科目	単位	高等学校 選択必修区分
「法律学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	憲法（経済学部開設）	2	
	政治学（経済学部開設）	**2**	**必修**
	国際法学入門	2	
	国際法学概論	2	
	国際政治学入門	**2**	**１科目以上 選択必修**
	国際政治学概論	**2**	
	国際政治経済学入門	2	
	国際政治経済学概論	2	
	グローバル・ガバナンス論	2	
	国際紛争の平和的解決	2	
	条約法	2	
	分裂した世界における人権	2	
「社会学、 経済学（国際経済を含む。）」	**社会学入門**	**2**	**必修**
	国際開発学入門	**2**	**必修**
	国際開発政策論	2	
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	**哲学史概説Ａ**	**2**	**１科目以上 選択必修**
	哲学史概説Ｂ	**2**	
	哲学基礎Ａ	**2**	
	哲学基礎Ｂ	**2**	
	哲学研究法Ａ	2	
	哲学研究法Ｂ	2	
	哲学研究法Ｃ	2	
	哲学研究法Ｄ	2	
	哲学研究法Ｅ	2	
	哲学研究法Ｆ	2	
	社会心理学入門	**2**	**１科目以上 選択必修**
	集団の社会心理学	**2**	
	現代哲学Ⅰ	2	
	現代哲学Ⅱ	2	
	現代哲学Ⅲ	2	
	現代哲学Ⅳ	2	
	現代哲学Ⅴ	2	
	哲学史Ⅰ	2	
	哲学史Ⅱ	2	
	哲学史Ⅲ	2	
	哲学史Ⅳ	2	
	哲学史Ⅴ	2	
	倫理学Ⅰ	2	
	倫理学Ⅱ	2	
	倫理学Ⅲ	2	
	哲学演習Ⅰ	2	
	哲学演習Ⅱ	2	
	哲学演習Ⅲ	2	
	哲学演習Ⅳ	2	
	哲学演習Ⅴ	2	
	哲学演習Ⅵ	2	
	哲学演習Ⅶ	2	
	哲学演習Ⅷ	2	
	哲学演習Ⅸ	2	
	哲学演習Ⅹ	2	
	哲学演習ⅩⅠ	2	
	哲学演習ⅩⅡ	2	
	哲学演習ⅩⅢ	2	
免許状取得必要単位数			35

教員の養成に係る授業科目（教育学部）

別表1　教養・スキル・リテラシー科目

①　教養・スキル・リテラシー科目として、英語Ⅰ4単位、英語Ⅱ4単位、「市民と憲法」2単位、「情報基礎」2単位、「スポーツ実技」2単位を含む合計18単位を修得しなければならない。

②　外国人留学生は、英語Ⅰ4単位、英語Ⅱ4単位の代わりに日本語Ⅰ4単位、日本語Ⅱ4単位の合計8単位を修得することで英語8単位の修得に代えることができる。

選択科目4単位のうち、2単位以上は「スポーツ実技」を除く学際領域科目群、AL科目群から修得しなければならない。

英語スキル教育科目群	
授業科目名	単位数
英語Ⅰ(General English Skills 1a)	1単位科目
英語Ⅰ(General English Skills 1b)	
英語Ⅰ(General English Skills 1c)	
英語Ⅰ(General English Skills 1d)	
英語Ⅱ(Academic English Skills 2a)	
英語Ⅱ(Academic English Skills 2b)	
英語Ⅱ(Academic English Skills 2c)	
英語Ⅱ(Academic English Skills 2d)	
英語Ⅰ(English for Specific Purposes 1a)	
英語Ⅰ(English for Specific Purposes 1b)	
英語Ⅱ(English for Specific Purposes 2a)	
英語Ⅱ(English for Specific Purposes 2b)	
英語Ⅰ(Academic Communication Skills 1a)	
英語Ⅰ(Academic Communication Skills 1b)	
英語Ⅱ(Academic Communication Skills 2a)	
英語Ⅱ(Academic Communication Skills 2b)	
英語Ⅰ(Academic Essay Writing 1a)	
英語Ⅰ(Academic Essay Writing 1b)	
英語Ⅱ(Academic Essay Writing 2a)	
英語Ⅱ(Academic Essay Writing 2b)	
英語Ⅰ(Basic English 1a)	
英語Ⅰ(Basic English 1b)	
英語Ⅱ(Basic English 2a)	
英語Ⅱ(Basic English 2b)	
日本語科目群	
授業科目名	単位数
日本語Ⅰa(読解)	1単位科目
日本語Ⅰb(読解)	
日本語Ⅰa(作文)	
日本語Ⅰb(作文)	
日本語Ⅱa(聴解)	
日本語Ⅱb(聴解)	
日本語Ⅱa(文章作成)	
日本語Ⅱb(文章作成)	

(1)以下の授業科目(4科目6単位)は必ず履修しなければならない。

科　目　群	授　業　科　目　名	単　位
社会科学科目群	市民と憲法	2単位
学際領域科目群	スポーツ実技	1単位を2科目分
学部基盤科目群	情報基礎	2単位

※「情報基礎」のクラス分けや時間帯については、シラバス等で確認すること。

(2)以下の授業科目の中から、4単位以上(そのうち2単位以上は、下記学際領域科目群または、AL科目群から2単位以上)を履修しなければならない。

科　目　群	授　業　科　目　名	単　位
学際領域科目群	地域創生を考えるa	1単位
	地域創生を考えるb	
	プログラミング入門	
	SDGsの基礎知識	
	特別講義	
	ジェンダー論入門	2単位
	ダイバーシティ論入門	
	農学入門	
	開発援助における環境	
	パーソナルファイナンス論	
	知的財産概説	
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	
	NGOと出会う	
	科学技術と出会う	
	SDGsと出会う	
	人間の〈性〉と〈生〉と〈死〉	
	テキストマイニング入門	
	情報処理システム入門	
	フェミニスト経済学	
	アントレプレナーシップ序論	
	有機農業と自然と社会	
	地域金融×地域創生入門	
AL科目群※	AL1(＊)	1単位
	AL2(＊)	2単位

人文学科目群	哲学概説	2単位
	宗教学概説	
	論理学概説	
	表象論概説	
	美学概説	
	芸術概説	
	考古学概説	
	日本史概説	
	東洋史概説	
	西洋史概説	
	文化人類学概説	
	言語学概説	
	日本文学・文化概説	
	アジア文学・文化概説	
	欧米文学・文化概説	
	ことばと文化	
	身体・スポーツ文化論入門	
社会科学科目群	政治学概説	2単位
	国際関係論概説	
	開発協力概論	
	開発と援助の潮流	
	法学概説	
	経済学概説	
	経営学概説	
	会計学概説	
	地理学概説	
	社会学概説	
	心理学入門	
	現代教育論	
	現代発達科学入門	
	教育臨床学入門	
	統計学入門	
自然科学科目群	教養数学Ⅰ	2単位
	教養数学Ⅱ	
	教養物理学	
	教養化学	
	教養分子生物学	
	教養生物学	
	科学で探る地球	
	工学と社会（機械工学系）	
	工学と社会（電気電子物理工学系）	
	工学と社会（情報系）	
	工学と社会（応用化学系）	
	工学と社会（環境社会デザイン系）	
	生活と技術	
	精神保健学	
	健康科学	

※AL1、AL2の科目は(＊)内の副題が異なればそれぞれ履修可能。

外国語教育科目群	
授業科目名	単位数
ドイツ語Ⅰa(文法)	1単位科目
ドイツ語Ⅰb(文法)	
ドイツ語Ⅰa(運用)	
ドイツ語Ⅰb(運用)	
ドイツ語Ⅱa(講読)	
ドイツ語Ⅱb(講読)	
ドイツ語Ⅱa(表現)	
ドイツ語Ⅱb(表現)	
フランス語Ⅰa(文法)	
フランス語Ⅰb(文法)	
フランス語Ⅰa(運用)	
フランス語Ⅰb(運用)	
フランス語Ⅱa(講読)	
フランス語Ⅱb(講読)	
フランス語Ⅱa(表現)	
フランス語Ⅱb(表現)	
中国語Ⅰa(文法)	
中国語Ⅰb(文法)	
中国語Ⅰa(運用)	
中国語Ⅰb(運用)	
中国語Ⅱa(講読)	
中国語Ⅱb(講読)	
中国語Ⅱa(表現)	
中国語Ⅱb(表現)	
ロシア語Ⅰa(文法)	
ロシア語Ⅰb(文法)	
ロシア語Ⅰa(運用)	
ロシア語Ⅰb(運用)	
ロシア語Ⅱa(講読)	
ロシア語Ⅱb(講読)	
ロシア語Ⅱa(表現)	
ロシア語Ⅱb(表現)	
韓国語Ⅰa(文法)	
韓国語Ⅰb(文法)	
韓国語Ⅰa(運用)	
韓国語Ⅰb(運用)	
韓国語Ⅱa(講読)	
韓国語Ⅱb(講読)	
韓国語Ⅱa(表現)	
韓国語Ⅱb(表現)	
イタリア語Ⅰa(文法)	
イタリア語Ⅰb(文法)	
イタリア語Ⅰa(運用)	
イタリア語Ⅰb(運用)	
イタリア語Ⅱa(講読)	
イタリア語Ⅱb(購読)	
イタリア語Ⅱa(表現)	
イタリア語Ⅱb(表現)	
スペイン語Ⅰa(文法)	
スペイン語Ⅰb(文法)	
スペイン語Ⅰa(運用)	
スペイン語Ⅰb(運用)	
スペイン語Ⅱa(講読)	
スペイン語Ⅱb(講読)	
スペイン語Ⅱa(表現)	
スペイン語Ⅱb(表現)	

「別表2～19」に共通する凡例

(1)単位の表記は次のような内容を表す。

①、② ーーーー 連続する2学期で1単位、連続する2学期で2単位

*① ーーーー 第1学期、第2学期、第3学期、第4学期、各学期で1単位

2、4 ーーーー 1～4学期(通年)2単位、1～4学期(通年)4単位

( )( )ーーー 指定されたいずれかの学年で履修可

(2)年度が異なって開講される「演習」、「実験」、「実技」、「特講にあたる授業科目」は、重複して履修することができ、かつ重複して修得した単位は「選択科目」として認められる。ただし、授業科目によっては重複履修が認められない場合がある。

(3)教免法上の科目欄の記号については別表19に続く別紙参照。

別表2:学校教育教員養成課程／小学校コースの各専修・分野に共通する科目

①小学校コースに属する者は、下の表の「教職専門科目」48単位、「初等教科専門科目」10単位、及び「介護体験」1単位が必修となるので、全てを修得すること。なお、「教職専門科目」とは、下の表の「初等教科専門科目」、「介護体験」以外の科目を指す。

②その他の科目については、別表1「教養・スキル・リテラシー科目」、別表4～15において各専修・分野ごとに定められた「専修専門科目」一覧と「卒業研究」、及び別表19の「学部共通科目」(「教職キャリア科目」を含む)などを参照すること。

③副免許状として小学校教員免許状を取得する場合は、「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」を参照すること。

[教職専門科目・初等教科専門科目・介護体験]

科 目	授 業 科 目	1年	2年	3年	4年	備 考	教免法上の科目
教職概説	教職入門Ⅰ	②				全科目48単位必修	B
〃	教職入門Ⅱ		1				B
教育学	教育学概説A(本質)	②					A
〃	教育学概説B(制度)	②					C
〃	教育方法・課程論		②				F・K
〃	ICT活用の理論と実践	*①					L
〃	道徳教育論		②				G
〃	特別活動論	*①					J
教育心理学	教育心理学概説	②					D
〃	生徒・進路指導論		②				M・O
〃	教育相談		②				N
総合的な学習	総合的な学習指導法	*①					I
特別支援教育	特別支援教育基礎論	*(①)	*(①)	*(①)			E
教科指導法	初等国語科指導法		②				Y
〃	初等社会科指導法		②				Y
〃	算数科指導法		②				Y
〃	初等理科指導法		②				Y
〃	初等音楽科指導法		②				Y
〃	図画工作科指導法		②				Y
〃	初等体育科指導法		②				Y
〃	初等家庭科指導法		②				Y
〃	生活科指導法		②				Y
〃	初等英語科指導法		②				Y
教育実習	基礎実習		1				P
〃	応用実習Ⅰ			4			P
教職実践演習	教職実践演習(小・中・高)				②		Q
初等教科専門科目	初等国語科概説	*①				全科目10単位必修 ※ 初等音楽科概説は、A～Dのうち、クラス指定された授業1科目を履修すること	X
〃	初等社会科概説	*①					X
〃	算数科概説	*①					X
〃	初等理科概説	*①					X
〃	初等音楽科概説 (A～D)	*①					X
〃	図画工作科概説	*①					X
〃	初等体育科概説	*①					X
〃	初等家庭科概説	*①					X
〃	生活科概説	*①					X
〃	初等英語科概説	*①					X
介護体験	介護体験実地		1			必修	

別表3:学校教育教員養成課程／中学校コース の各専修・分野に共通する科目、及び各教科の指導法科目

①中学校コースの各専修・分野に属する者は、次の表にある教職専門科目36単位（必修28単位、各教科の指導法8単位）、及び「介護体験」1単位が必修となるので、全てを修得すること。なお、「教職専門科目」とは、次の表の「介護体験」以外の科目を指す。
②各教科の指導法については、自分の所属する専修・分野に関る科目の指導法A～Dの4科目8単位を修得すること。たとえば、国語分野に所属する者は「国語科指導法A～D」が必修である。
③社会専修に属する者については、「中等社会科指導法A(地理歴史科)」、「中等社会科指導法B(地理歴史科)」、「中等社会科指導法A(公民科)」、「中等社会科指導法B(公民科)」が必修である。
④その他の科目については、別表1「教養・スキル・リテラシー科目」、別表6～15において各専修・分野ごとに定められた「中等専門科目」一覧と「卒業研究」、及び別表19の「学部共通科目」(「教職キャリア科目」を含む)などを参照すること。
⑤副免許として中学校・高等学校の各教科の教員免許状を取得する場合は、次の表に載せられた、該当する科目に関る中学校コースの授業科目を修得し、また、別表6～15のうちの該当する部分を参照して必要な科目を修得すること。詳細については、「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」

［教職専門科目・介護体験］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
教職概説	教職入門Ⅰ	②				全科目28単位必修	B
〃	教職入門Ⅱ		1				B
教育学	教育学概説A(本質)	②					A
〃	教育学概説B(制度)	②					C
〃	教育方法・課程論		②				F・K
〃	ICT活用の理論と実践	*①					L
〃	道徳教育論		②				G（高Z）
〃	特別活動論	*①					J
教育心理学	教育心理学概説	②					D
〃	生徒・進路指導論		②				M・O
〃	教育相談		②				N
総合的な学習	総合的な学習指導法	*①					I
特別支援教育	特別支援教育基礎論	*(①)	*(①)	*(①)			E
教育実習	基礎実習		1				P
〃	応用実習Ⅰ			4			P
教職実践演習	教職実践演習（小・中・高）				②		Q
教科指導法	中等国語科指導法A		②			自分の所属する専修・分野に関る科目の中等教科指導法科目A～Dの4科目8単位を修得すること。（社会専修の場合は、中等社会科指導法A（地理歴史科）、中等社会科指導法A（公民科）、中等社会科指導法B（地理歴史科）、中等社会科指導法B（公民科）の4科目8単位を修得すること。）	Y
〃	中等国語科指導法B		②				Y
〃	中等国語科指導法C		②				Y
〃	中等国語科指導法D			②			Y
〃	中等社会科指導法A(地理歴史科)		②				Y
〃	中等社会科指導法A(公民科)		②				Y
〃	中等社会科指導法B(地理歴史科)		②				Y
〃	中等社会科指導法B(公民科)		②				Y
〃	中等数学科指導法A		②				Y
〃	中等数学科指導法B		②				Y
〃	中等数学科指導法C		②				Y
〃	中等数学科指導法D			②			Y
〃	中等理科指導法A		②				Y
〃	中等理科指導法B		②				Y
〃	中等理科指導法C		②				Y
〃	中等理科指導法D			②			Y
〃	中等音楽科指導法A		②				Y
〃	中等音楽科指導法B		②				Y
〃	中等音楽科指導法C		②				Y
〃	中等音楽科指導法D		②				Y
〃	中等美術科指導法A		②				Y
〃	中等美術科指導法B		②				Y
〃	中等美術科指導法C		②				Y
〃	中等美術科指導法D		②				Y
〃	中等保健体育科指導法A		②				Y
〃	中等保健体育科指導法B		②				Y
〃	中等保健体育科指導法C		②				Y
〃	中等保健体育科指導法D			②			Y
〃	中等家庭科指導法A	②					Y
〃	中等家庭科指導法B		②				Y
〃	中等家庭科指導法C		②				Y
〃	中等家庭科指導法D			②			Y
〃	中等技術科指導法A		②				Y
〃	中等技術科指導法B		②				Y
〃	中等技術科指導法C		②				Y
〃	中等技術科指導法D			②			Y
〃	中等英語科指導法A		②				Y
〃	中等英語科指導法B		②				Y
〃	中等英語科指導法C		②				Y
〃	中等英語科指導法D		②				Y
介護体験	介護体験実地		1			必修	

別表4:小学校コース／教育学専修

教育学専修の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	6	8	本表の「専修専門科目」一覧中の、◎印の付いた5科目6単位を必修とし、それ以外から8単位以上、合計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
教育学入門	◎教育学入門	②					
教育学演習	◎教育学演習Ⅰ(A～G)		①				
〃	◎教育学演習Ⅱ(A～G)		①				
〃	◎教育学演習Ⅲ(A～G)			①			
〃	◎教育学演習Ⅳ(A～G)			①			
教育学概論	教育史概論		(②)	(②)	(②)		Z
〃	教育社会学概論		(②)	(②)	(②)		
〃	教育法学概論	(②)	(②)	(②)	(②)		
〃	社会教育学概論A		(②)	(②)	(②)		Z
〃	社会教育学概論B		(②)	(②)	(②)		
〃	環境教育概論	(②)					
教育学特講	教育史特講		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	教育社会学特講		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	教育法学特講		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
		合計14単位以上を修得					

［卒業研究］

論　文	4単位

別表5:小学校コース／心理・教育実践学専修

心理・教育実践学専修の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	2	16	本表の「専修専門科目」一覧中の、◎印の付いた2科目2単位を必修とし、○印の付いたa科目群4科目4単位を修得するか、あるいはb科目群4科目4単位を修得すること。さらにその他の科目から、12単位以上選択し、計18単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			19	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
心理・教育実践学演習	◎心理・教育実践学入門Ⅰ		①				
〃	◎心理・教育実践学入門Ⅱ		①				
〃	○教育臨床演習ⅠA			①		a科目群	
〃	○教育臨床演習ⅠB			①			
〃	○教育臨床演習ⅡA				①		
〃	○教育臨床演習ⅡB				①		
〃	○心理学演習ⅠA			①		b科目群	
〃	○心理学演習ⅠB			①			
〃	○心理学演習ⅡA				①		
〃	○心理学演習ⅡB				①		
心理・教育実践学概論	教育における臨床の知	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	教材づくりと授業展開	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	学校・地域とカリキュラム編成	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	教師の成長と教師教育	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	メディアと学習支援	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	発達心理学概論	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	Z
〃	カウンセリング概論	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	Z
心理・教育実践学特講	教授・学習システム論		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	授業分析と授業の構成		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	表現と教育実践		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	子ども問題と学校文化		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	総合学習の原理と方法		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	発達心理学特講		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	カウンセリング特講		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	精神医学特講		(②)	(②)	(②)		
心理・教育実践学実習	フィールドワーク実習		(2)	(2)	(2)		
〃	心理カウンセリング実習		(2)	(2)	(2)		
		合計18単位以上を修得					

［卒業研究］

論　文	4単位

別表6：小学校コース／言語文化専修／国語分野
中学校コース／言語文化専修／国語分野

小学校コース・国語分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	4	10	本表の「専修専門科目」一覧中のうち、a群・b群・c群・d群・e群の中から、群ごとに1科目ずつ(計10単位)を選択し、また「必修」と記された「漢文学特講Ⅰ」及び「国語教育総合演習」2科目4単位、合計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

中学校コース・国語分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「国語」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*3*	36		
	中等教科専門科目	*本表*	16	10	本表の「中等教科専門科目」一覧にある◎印の付いた8科目16単位を必修とし、それ以外から10単位以上を修得すること(但し、A群・B群・C群・D群から各1科目8単位以上)。計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*3*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ．規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「国語」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の★1・★2・★3・★4の4群について、群ごとに1科目2単位ずつ(計8単位)、及び☆の付いた「漢文学特講Ⅰ」2単位と合わせて、計10単位以上を修得すること。加えて、中等国語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「国語」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等国語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。　※ただし、小学校コース／言語文化専修／国語分野以外の者が、中学校教諭1種免許状を取得する場合は、複合領域の国語教育総合演習は修得の対象とはならない。
高等学校 1種免許状 「国語」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、「書道」類科目を除いた中等教科専門科目の中から、26単位以上を修得すること。加えて、中等国語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。　※ただし、小学校コース／言語文化専修／国語分野以外の者が、高等学校教諭1種免許状を取得する場合は、複合領域の国語教育総合演習は修得の対象とはならない。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
国語学	国語学概論	(②)	(②)	(②)	(②)	a群:いずれか1科目　隔年開講	X
〃	国語史概説	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	国語学特講A	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	国語学特講B	(②)	(②)	(②)	(②)		X
国文学	国文学史概説A		②			b群:いずれか1科目	X
〃	国文学史概説B			(②)	(②)		X
〃	国文学概説A		②			b群:いずれか1科目	X
〃	国文学概説B			(②)	(②)		X
〃	古典文学特講A			(②)	(②)	c群:いずれか1科目	X
〃	古典文学特講B			(②)	(②)		X
〃	近代文学特講A			(②)	(②)	c群:いずれか1科目	X
〃	近代文学特講B			(②)	(②)		X
漢文学	◎漢文学特講Ⅰ		②			必修	X
〃	漢文学特講ⅡA		(②)	(②)	(②)	隔年開講	X
〃	漢文学特講ⅡB		(②)	(②)	(②)		X
〃	漢文学特講ⅡC		(②)	(②)	(②)		X
〃	漢文学特講ⅡD		(②)	(②)	(②)		X
書道	書道(書写)A	(②)	(②)	(②)	(②)	d群:いずれか1科目以上選択	X
〃	書道(書写)B	(②)	(②)	(②)	(②)		X
複合領域	国語教育基礎研究A		②			e群:いずれか1科目以上選択	
〃	国語教育基礎研究B			②			
〃	◎国語教育総合演習			2		必修	
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
国語学	国語学概論	(②)	(②)	(②)	(②)	A群:いずれか1科目以上選択　全て隔年開講	★1	X
〃	国語史概説	(②)	(②)	(②)	(②)		★1	X
〃	国語学特講A	(②)	(②)	(②)	(②)		★1	X
〃	国語学特講B	(②)	(②)	(②)	(②)		★1	X
国文学	◎国文学史概説A		②				★2	X
〃	国文学史概説B			(②)	(②)			X
〃	◎国文学概説A		②				★2	X
〃	国文学概説B			(②)	(②)			X
〃	◎古典文学特講A		(②)	(②)	(②)		★3	X
〃	◎古典文学特講B			(②)	(②)			X
〃	◎近代文学特講A		(②)	(②)	(②)		★3	X
〃	◎近代文学特講B			(②)	(②)			X
漢文学	◎漢文学特講Ⅰ	②					☆	X
〃	漢文学特講ⅡA		(②)	(②)	(②)	B群:いずれか1科目以上選択　全て隔年開講		X
〃	漢文学特講ⅡB		(②)	(②)	(②)			X
〃	漢文学特講ⅡC		(②)	(②)	(②)			X
〃	漢文学特講ⅡD		(②)	(②)	(②)			X
書道	書道(書写)A	(②)	(②)	(②)	(②)	C群:いずれか1科目以上選択	★4	X
〃	書道(書写)B	(②)	(②)	(②)	(②)		★4	X
複合領域	国語教育基礎研究A		②			D群:いずれか1科目以上選択		Z
〃	国語教育基礎研究B			②				Z
〃	◎国語教育総合演習			2		国語分野の学生のみ		Z
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

論　文	4単位

別表7:小学校コース／言語文化専修／英語分野
中学校コース／言語文化専修／英語分野

小学校コース・英語分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	10	4	本表の「専修専門科目」一覧中から、◎印5科目10単位、及びA群・B群の中から各々2単位、合計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

中学校コース・英語分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「英語」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*3*	36		
	中等教科専門科目	*本表*	18	8	本表の「中等教科専門科目」一覧の中から◎印9科目18単位を必修とし、その他に8単位以上、合計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*3*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「英語」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の中の☆印の付いた10単位、及びA群・B群の中から各々2単位ずつ、計14単位以上を修得すること。加えて、中等英語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「英語」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等英語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
高等学校 1種免許状 「英語」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等英語科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
英語文学	◎英語文学講読A		②				X
〃	◎英語文学講読B		②				X
英語学	◎英文法概説A	②					X
〃	◎英文法概説B	②					X
〃	英語音声学A	(②)	(②)			隔年開講	X
〃	英語音声学B	(②)	(②)			隔年開講	X
〃	現代英語	(②)	(②)				X
英語コミュニケーション	英会話ⅠA	(②)	(②)			A群	X
〃	英会話ⅠB	(②)	(②)				X
〃	英会話ⅡA		(②)	(②)	(②)		X
〃	英会話ⅡB		(②)	(②)	(②)		X
〃	英作文ⅠA		②			B群	X
〃	英作文ⅠB		②				X
〃	英作文Ⅱ			(②)	(②)		X
異文化理解	◎英米事情			②			X
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
英語文学	◎英語文学講読A		②				☆	X
〃	◎英語文学講読B		②				☆	X
〃	英語文学史A			(②)	(②)	隔年開講		X
〃	英語文学史B			(②)	(②)	隔年開講		X
〃	英語文学演習ⅠA			①		特別研究ⅠAに該当		X
〃	英語文学演習ⅠB			①		特別研究ⅠBに該当		X
〃	英語文学演習ⅡA				①	特別研究ⅡAに該当		X
〃	英語文学演習ⅡB				①	特別研究ⅡBに該当		X
英語学	◎英文法概説A	②					☆	X
〃	◎英文法概説B	②					☆	X
〃	英語音声学A	(②)	(②)			隔年開講		X
〃	英語音声学B	(②)	(②)			隔年開講		X
〃	英語学概論A		(②)	(②)		隔年開講		X
〃	英語学概論B		(②)	(②)		隔年開講		X
〃	英語学演習ⅠA			①		特別研究ⅠAに該当		X
〃	英語学演習ⅠB			①		特別研究ⅠBに該当		X
〃	英語学演習ⅡA				①	特別研究ⅡAに該当		X
〃	英語学演習ⅡB				①	特別研究ⅡBに該当		X
〃	現代英語	(②)	(②)					X
〃	応用言語学演習ⅠA			①		特別研究ⅠAに該当		X
〃	応用言語学演習ⅠB			①		特別研究ⅠBに該当		X
〃	応用言語学演習ⅡA				①	特別研究ⅡAに該当		X
〃	応用言語学演習ⅡB				①	特別研究ⅡBに該当		X
英語コミュニケーション	◎英会話ⅠA	②					A群	X
〃	◎英会話ⅠB	②						X
〃	英会話ⅡA		②					X
〃	英会話ⅡB		②					X
〃	◎英作文ⅠA		②				B群	X
〃	◎英作文ⅠB		②					X
〃	英作文Ⅱ			②				X
異文化理解	◎英米事情			②			☆	X
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

		1年	2年	3年	4年	備　考
特別研究	特別研究ⅠA			①		原則として、3･4年次にわたって履修しなければならない。
〃	特別研究ⅠB			①		
〃	特別研究ⅡA				①	
〃	特別研究ⅡB				①	
論文	論文				4	特別研究で履修する場合以外
計		4単位				

別表8：小学校コース／社会専修
中学校コース／社会専修

小学校コース・社会専修の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	12	2	本表の「専修専門科目」一覧中の、○印の付いた6科目12単位を必修とし、それ以外から2単位、計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

中学校コース・社会専修の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「社会」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*3*	36		
	中等教科専門科目	*本表*	12	14	本表の「中等教科専門科目」中の、◎印の付いた6科目12単位を必修とし、それ以外から14単位(うち8単位はA群またはB群から選択すること。)、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*3*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「社会」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄のうち、☆印の付いた6科目12単位とし、それ以外から2単位、計14単位以上を修得すること。加えて、「中等社会科指導法A（地理歴史科）」、「中等社会科指導法B（地理歴史科）」、「中等社会科指導法A（公民科）」、「中等社会科指導法B（公民科）」の計8単位を修得すること。
中学校 1種免許状 「社会」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。ただし、A群とB群で計20単位以上を修得すること。加えて、「中等社会科指導法A（地理歴史科）」、「中等社会科指導法B（地理歴史科）」、「中等社会科指導法A（公民科）」、「中等社会科指導法B（公民科）」の計8単位を修得すること。
高等学校 1種免許状 「地理歴史」	A群及びC群科目の中から計26単位以上を修得すること。ただし、そのうち20単位以上は一覧中のA群に属する授業科目中から修得しなければならず、かつA群中の「地誌学」、「自然地理学」及び「人文地理学」及び◎のついた科目は必ず修得しなければならない。加えて、「中等社会科指導法A（地理歴史科）」、「中等社会科指導法B（地理歴史科）」、「中等社会科指導法A（公民科）」、「中等社会科指導法B（公民科）」の計8単位を修得すること。
高等学校 1種免許状 「公民」	B群及びC群科目の中から計26単位以上を修得すること。ただし、そのうち20単位以上は一覧中のB群に属する授業科目中から修得しなければならず、かつB群中の◎のついた科目は必ず修得しなければならない。加えて、「中等社会科指導法A（地理歴史科）」、「中等社会科指導法B（地理歴史科）」、「中等社会科指導法A（公民科）」、「中等社会科指導法B（公民科）」の計8単位を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科目		授業科目	1年	2年	3年	4年	備考	教免法上の科目
A群	日本史	○日本史学概論	(②)	(②)				X
	〃	日本史学研究入門		②				X
	〃	日本史学特講A			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	日本史学特講B			(②)	(②)	隔年開講	X
		日本史学特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	日本史学調査実習			②		集中講義	X
	〃	日本史学演習			2			X
	外国史	○外国史概論	(②)	(②)				X
	〃	外国史研究入門		②				X
	〃	外国史特講A			(②)	(②)		X
	〃	外国史特講B			(②)	(②)		X
	〃	外国史特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	外国史演習			2			X
	日本史及び外国史	歴史学基礎研究		②				X
	地理学	○地理学概論（地誌学を含む。）	(②)	(②)				X
	〃	地誌学		(②)	(②)	(②)	※高校地理歴史科の免許を取得する上で必修	X
	〃	自然地理学			(②)	(②)	いずれも隔年開講	X
	〃	人文地理学			(②)	(②)	※高校地理歴史科の免許を取得する上で必修	X
	〃	地理学基礎研究		②				X
	〃	地理学研究入門		②				X
	〃	地理学特講A			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	地理学特講B			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	地理学特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	地理学野外実習A			(②)	(②)	集中講義	X
	〃	地理学野外実習B			(②)	(②)	集中講義	X
	〃	地理学演習A			2			X
	〃	地理学演習B			2			X
B群	法律学	○法学概論		(②)	(②)			X
	〃	法学研究入門		②				X
	〃	法学特講A			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	法学特講B			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	法学特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	法学演習			2			X
	社会学	○社会学概論	(②)	(②)				X
	〃	社会学研究入門		②				X
	〃	社会学調査実習			(②)	(②)	集中講義	X
	〃	社会学特講A			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	社会学特講B			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	社会学特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	社会学演習			2			X
	倫理学	○倫理学概論		(②)	(②)			X
	〃	倫理学研究入門		②				X
	〃	倫理学特講A			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	倫理学特講B			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	倫理学特講C			(②)	(②)	隔年開講	X
	〃	倫理学演習			2			X
	人文・社会科学	人文・社会科学基礎研究		②				X
C群	社会科教育学	社会科教育学基礎研究		②				
	〃	社会科教育研究入門		②				
	〃	社会科教育学演習A			(2)	(2)		
	〃	社会科教育学演習B			(2)	(2)		
	〃	社会科授業構成論			②			
	社会科特講	社会科特講A			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講B			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講C			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講D			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講E			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講F			(②)	(②)	隔年開講	
	〃	社会科特講G			(②)	(②)	隔年開講	
			合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科目		授業科目	1年	2年	3年	4年	備考	中学2種	教免法上の科目
A群	日本史	◎日本史学概論	(②)	(②)				☆	X
	〃	日本史学研究入門		②					X
	〃	日本史学特講A		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	日本史学特講B		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
		日本史学特講C			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	日本史学調査実習			②		集中講義		X
	〃	日本史学演習			2				X
	外国史	◎外国史概論	(②)	(②)				☆	X
	〃	外国史研究入門		②					X
	〃	外国史特講A			(②)	(②)			X
	〃	外国史特講B			(②)	(②)			X
	〃	外国史特講C			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	外国史演習			2				X
	日本史及び外国史	歴史学基礎研究		②					X
	地理学	◎地理学概論(地誌を含む。)	(②)	(②)				☆	X
	〃	地誌学		(②)	(②)	(②)	※高校地理歴史科の免許を取得する上で必修		X
	〃	自然地理学		(②)	(②)	(②)	いずれも隔年開講 ※高校地理歴史科の免許を取得する上で必修		X
	〃	人文地理学		(②)	(②)	(②)			X
	〃	地理学基礎研究		②					X
	〃	地理学研究入門		②					X
	〃	地理学特講A		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	地理学特講B		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	地理学特講C		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	地理学野外実習A			(②)	(②)	集中講義		X
	〃	地理学野外実習B			(②)	(②)	集中講義		X
	〃	地理学演習A			2				X
	〃	地理学演習B			2				X
B群	法律学	◎法学概論		(②)	(②)			☆	X
	〃	法学研究入門		②					X
	〃	法学特講A			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	法学特講B			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	法学特講C			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	法学演習			2				X
	社会学	◎社会学概論	(②)	(②)				☆	X
	〃	社会学研究入門		②					X
	〃	社会学調査実習			(②)	(②)	集中講義		X
	〃	社会学特講A			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	社会学特講B			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	社会学特講C			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	社会学演習			2				X
	倫理学	◎倫理学概論		(②)	(②)			☆	X
	〃	倫理学研究入門		②					X
	〃	倫理学特講A			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	倫理学特講B			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	倫理学特講C			(②)	(②)	隔年開講		X
	〃	倫理学演習			2				X
	人文・社会科学	人文・社会科学基礎研究		②					X
C群	社会科教育学	社会科教育学基礎研究		②					Z
	〃	社会科教育研究入門		②					Z
	〃	社会科教育学演習A			(2)	(2)			Z
	〃	社会科教育学演習B			(2)	(2)			Z
	〃	社会科授業構成論			②				Z
	社会科特講	社会科特講A			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講B			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講C			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講D			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講E			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講F			(②)	(②)	隔年開講		Z
	〃	社会科特講G			(②)	(②)	隔年開講		Z
			合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

論　文	4単位

別表9:小学校コース／自然科学専修／算数分野
中学校コース／自然科学専修／数学分野

小学校コース・算数分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*2*	48		
	初等教科専門科目	*2*	10		
	専修専門科目	*本表*	10	4	本表の「専修専門科目」一覧中から、◎印の付いた5科目10単位を必修とし、及びそれ以外から4単位以上を修得し、計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*2*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

中学校コース・数学分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「数学」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		*1*	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	*3*	36		
	中等教科専門科目	*本表*	16	10	本表の「中等教科専門科目」一覧中から、◎印の付いた8科目16単位を必修とし、及びそれ以外から10単位以上、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	*19*		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	*3*	1		
	卒業研究	*本表*	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「数学」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の中の☆印の付いた8科目16単位を修得すること(全て必修)。加えて、中等数学科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「数学」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等数学科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
高等学校 1種免許状 「数学」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等数学科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
代数学	◎代数学A	②					X
〃	代数学B		②				X
〃	代数学C			②			X
〃	代数学研究			(②)	(②)	隔年開講	X
幾何学	◎幾何学A		②				X
〃	幾何学B	②					X
〃	幾何学C			②			X
〃	幾何学研究			(②)	(②)	隔年開講	X
解析学	◎解析学A	②					X
〃	解析学B	②					X
〃	解析学C			②			X
〃	解析学研究			(②)	(②)	隔年開講	X
数理科学	◎数理統計学		②				X
〃	数理科学		②				X
〃	数理科学研究			(②)	(②)	隔年開講	X
〃	◎情報数理		②				X
数学教育学	数学教育学研究A		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
〃	数学教育学研究B		(②)	(②)	(②)	隔年開講	
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
代数学	◎代数学A	②					☆	X
〃	◎代数学B	②					☆	X
〃	代数学C		②					X
〃	代数学研究			(②)	(②)	隔年開講		X
幾何学	◎幾何学A	②					☆	X
〃	◎幾何学B	②					☆	X
〃	幾何学C		②					X
〃	幾何学研究			(②)	(②)	隔年開講		X
解析学	◎解析学A	②					☆	X
〃	◎解析学B	②					☆	X
〃	解析学C		②					X
〃	解析学研究			(②)	(②)	隔年開講		X
数理科学	◎数理統計学		②				☆	X
〃	数理科学		②					X
〃	数理科学研究			(②)	(②)	隔年開講		X
〃	◎情報数理		②				☆	X
数学教育学	数学教育学研究A		(②)	(②)	(②)	隔年開講		Z
〃	数学教育学研究B		(②)	(②)	(②)	隔年開講		Z
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

		1年	2年	3年	4年	備　考
特別研究	特別研究Ⅰ			①		3･4年次にわたって履修すること
〃	特別研究ⅡA				①	
〃	特別研究ⅡB				②	
〃	特別研究				4	「特別研究Ⅰ・ⅡA・ⅡB」で履修しない場合
論文	論文				4	特別研究で履修する場合以外
計		4単位				

別表10:小学校コース／自然科学専修／理科分野
中学校コース／自然科学専修／理科分野

小学校コース・理科分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	8	6	本表の「専修専門科目」一覧中から、◎印の付いた4科目8単位を必修とし、及び〇印の付いた4科目のうち3科目6単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・理科分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「理科」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	24	2	本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた12科目24単位を必修とし、及びそれ以外から2単位以上、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「理科」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の中の☆印の付いた8科目16単位を修得すること(全て必修)。加えて、中等理科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「理科」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従って、26単位以上を修得すること。加えて、中等理科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
高等学校 1種免許状 「理科」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従って、26単位以上を修得すること。加えて、中等理科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
物理学	◎物理学	②					X
〃	物理学演習			2			X
〃	○物理学実験		2				X
〃	力学		②			隔年開講	X
〃	電磁気学		②			隔年開講	X
〃	現代物理学		②				X
化学	◎化学	(②)	(②)				X
〃	化学演習			2			X
〃	○化学実験		2				X
〃	無機化学		(②)	(②)			X
〃	有機化学		(②)	(②)			X
生物学	◎生物学	(②)	(②)				X
〃	生物学演習			2			X
〃	○生物学実験		2				X
〃	動物学		(②)	(②)			X
地学	◎地学	(②)	(②)				X
〃	地学演習			2			X
〃	○地学実験		2				X
〃	地殻進化学		(②)	(②)			X
〃	天文学	(②)	(②)	(②)		隔年開講	X
理科総合	理科教授学習評価論		(②)	(②)			
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
物理学	◎物理学	②					☆	X
〃	◎物理学演習			2				X
〃	◎物理学実験		2				☆	X
〃	力学		②			隔年開講		X
〃	電磁気学		②			隔年開講		X
〃	現代物理学		②					X
化学	◎化学	②					☆	X
〃	◎化学演習			2				X
〃	◎化学実験		2				☆	X
〃	無機化学		(②)	(②)				X
〃	有機化学		(②)	(②)				X
生物学	◎生物学	②					☆	X
〃	◎生物学演習			2				X
〃	◎生物学実験		2				☆	X
〃	動物学		(②)	(②)				X
地学	◎地学	②					☆	X
〃	◎地学演習			2				X
〃	◎地学実験		2				☆	X
〃	地殻進化学		(②)	(②)				X
〃	天文学	(②)	(②)	(②)		隔年開講		X
理科総合	理科教授学習評価論		(②)	(②)				Z
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

		1年	2年	3年	4年	備　考
特別研究	特別研究Ⅰ			①		3･4年次にわたって履修しなければならない。
〃	特別研究Ⅱ				3	
計		4単位				

別表11:小学校コース／芸術専修／音楽分野
中学校コース／芸術専修／音楽分野

小学校コース・音楽分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	12	2	本表の「専修専門科目」一覧中の、◎印の付いた8科目12単位を必修とし、それ以外から2単位、計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・音楽分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「音楽」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	12	14	本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた7科目12単位を必修とし、及びそれ以外から14単位以上、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「音楽」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の☆印の付いた8科目12単位、及び同欄に指定された科目の中から5科目6単位以上、計18単位以上を修得すること。加えて、中等音楽科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「音楽」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等音楽科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
高等学校 1種免許状 「音楽」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等音楽科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
ソルフェージュ	◎ソルフェージュ演習	(①)	(①)	(①)	(①)		X
声楽	合唱演習A	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	X
〃	合唱演習B	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	声楽演習A（合唱を含む）	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	X
〃	声楽演習B（合唱を含む）	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	声楽演習D	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	◎声楽演習C(日本の伝統的な歌唱)	(①)	(①)	(①)	(①)		X
器楽	ピアノ演習A(伴奏を含む)	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	X
〃	ピアノ演習B(伴奏を含む)	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	ピアノ演習C	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	ピアノ演習D	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	木管楽器演習A	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	X
〃	木管楽器演習B	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	◎合奏演習	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	◎器楽演習A(日本の伝統的な楽器)	(①)	(①)	(①)	(①)		X
〃	器楽演習B（金管楽器）	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	X
〃	器楽演習C（打楽器）	(①)	(①)	(①)	(①)		X
指揮法	◎指揮法概説Ⅰ		(②)	(②)	(②)		X
〃	指揮法概説Ⅱ		(②)	(②)	(②)		X
音楽史	◎西洋音楽史	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	音楽民族学	(②)	(②)	(②)	(②)	いずれか1科目以上選択	X
〃	日本音楽史	(②)	(②)	(②)	(②)		X
音楽理論	◎音楽理論	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	◎作曲Ⅰ(編曲法を含む)	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	作曲Ⅱ	(②)	(②)	(②)	(②)		X
〃	作曲法演習		(①)	(①)	(①)		X
〃	アナリーゼ		(②)	(②)	(②)		X
音楽教育学	音楽科教育研究		(①)	(①)	(①)		X
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
ソルフェージュ	◎ソルフェージュ演習	(①)	(①)	(①)	(①)		☆	X
声楽	合唱演習A	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	1科目以上	X
〃	合唱演習B	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	声楽演習A（合唱を含む）	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目を必修	1科目以上	X
〃	声楽演習B（合唱を含む）	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	声楽演習D	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	◎声楽演習C(日本の伝統的な歌唱)	(①)	(①)	(①)	(①)		☆	X
器楽	ピアノ演習A(伴奏を含む)	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	1科目以上	X
〃	ピアノ演習B(伴奏を含む)	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	ピアノ演習C	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	ピアノ演習D	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	木管楽器演習A	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択	1科目以上	X
〃	木管楽器演習B	(①)	(①)	(①)	(①)			X
〃	◎合奏演習	(①)	(①)	(①)	(①)		☆	X
〃	◎器楽演習A(日本の伝統的な楽器)	(①)	(①)	(①)	(①)		☆	X
〃	器楽演習B（金管楽器）	(①)	(①)	(①)	(①)	いずれか1科目以上選択		X
〃	器楽演習C（打楽器）	(①)	(①)	(①)	(①)			X
指揮法	◎指揮法概説Ⅰ		(②)	(②)	(②)		☆	X
〃	指揮法概説Ⅱ		(②)	(②)	(②)			X
音楽史	◎西洋音楽史	(②)	(②)	(②)	(②)		☆	X
〃	音楽民族学	(②)	(②)	(②)	(②)	いずれか1科目以上選択	1科目以上	X
〃	日本音楽史	(②)	(②)	(②)	(②)			X
音楽理論	◎音楽理論	(②)	(②)	(②)	(②)		☆	X
〃	◎作曲Ⅰ(編曲法を含む)	(②)	(②)	(②)	(②)		☆	X
〃	作曲Ⅱ	(②)	(②)	(②)	(②)			X
〃	作曲法演習		(①)	(①)	(①)			X
〃	アナリーゼ		(②)	(②)	(②)			X
音楽教育学	音楽科教育研究		(①)	(①)	(①)			X
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

		1年	2年	3年	4年	備　考
特別研究	特別研究Ⅰ			2		3～4年次にわたって履修しなければならない
〃	特別研究Ⅱ				2	
計		4単位				

別表12:小学校コース／芸術専修／図画工作分野
中学校コース／芸術専修／美術分野

小学校コース・図画工作分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	12	2	本表の「専修専門科目」一覧中の、◎印の付いた6科目12単位必修、及び「美術理論A」、「美術理論B」から1科目2単位以上、計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・美術分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「美術」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	24	2	本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた12科目24単位を必修とし、その他の科目から1科目2単位以上、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「美術」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の中の☆印の付いた5科目10単位を修得すること(全て必修)。加えて、中等美術科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「美術」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等美術科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
高等学校 1種免許状 「美術」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、「工芸」科目を除いた授業科目の中から計26単位以上を修得すること。加えて、中等美術科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
絵画	◎絵画基礎実技Ⅰ(映像メディア表現を含む。)	2					X
〃	絵画基礎実技Ⅱ		2				X
〃	絵画研究A			(2)	(2)		X
〃	絵画研究B			(2)	(2)		X
彫刻	◎彫刻基礎実技Ⅰ	2					X
〃	彫刻基礎実技Ⅱ		2				X
〃	彫刻研究A			(2)	(2)		X
〃	彫刻研究B			(2)	(2)		X
デザイン	◎デザイン基礎実技Ⅰ(映像メディア表現を含む。)	2					X
〃	デザイン基礎実技Ⅱ(映像メディア表現を含む。)		2				X
〃	デザイン研究A(映像メディア表現を含む。)			(2)	(2)		X
〃	デザイン研究B(映像メディア表現を含む。)			(2)	(2)		X
工芸	◎工芸基礎実技Ⅰ	2					X
〃	工芸基礎実技Ⅱ		2				X
〃	工芸研究A			(2)	(2)		X
〃	工芸研究B			(2)	(2)		X
美術理論及び美術史	◎美術史概論(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	②					X
〃	日本美術史		(②)	(②)	(②)	隔年開講	X
〃	◎造形芸術学概論		②				X
〃	美術理論A		(②)	(②)	(②)	いずれか1科目以上選択	X
〃	美術理論B		(②)	(②)	(②)		X
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
絵画	◎絵画基礎実技Ⅰ(映像メディア表現を含む。)	2					☆	X
〃	◎絵画基礎実技Ⅱ		2					X
〃	絵画研究A			(2)	(2)			X
〃	絵画研究B			(2)	(2)			X
彫刻	◎彫刻基礎実技Ⅰ	2					☆	X
〃	◎彫刻基礎実技Ⅱ		2					X
〃	彫刻研究A			(2)	(2)			X
〃	彫刻研究B			(2)	(2)			X
デザイン	◎デザイン基礎実技Ⅰ(映像メディア表現を含む。)	2					☆	X
〃	◎デザイン基礎実技Ⅱ(映像メディア表現を含む。)		2					X
〃	デザイン研究A(映像メディア表現を含む。)			(2)	(2)			X
〃	デザイン研究B(映像メディア表現を含む。)			(2)	(2)			X
工芸	◎工芸基礎実技Ⅰ	2					☆	X
〃	工芸基礎実技Ⅱ		2					X
〃	工芸研究A			(2)	(2)			X
〃	工芸研究B			(2)	(2)			X
美術理論及び美術史	◎美術史概論(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	②					☆	X
〃	◎日本美術史		(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
〃	◎造形芸術学概論		②					X
〃	◎美術理論A		(②)	(②)	(②)			X
〃	◎美術理論B		(②)	(②)	(②)			X
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

		1年	2年	3年	4年	備　考
特別研究	特別研究Ⅰ			2		3～4年次にわたって履修しなければならない
〃	特別研究Ⅱ				2	
論文	論文				4	特別研究で履修する場合以外は、いずれかについて4単位以上修得すること。
制作	制作				4	
計		4単位				

別表13:小学校コース／身体文化専修／体育分野
中学校コース／身体文化専修／保健体育分野

小学校コース・体育分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	12	2	本表の「専修専門科目」一覧中の、◎印の付いた8科目12単位を必修とし、及びそれ以外から2単位以上(ただし、○印から1単位以上を含むこと)、計14単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・保健体育分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「保健体育」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	21	5	本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた15科目21単位を必修とし、それ以外から5単位以上を修得し、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習(中学校)」を修得すること。

中学校2種免許状「保健体育」	本表の「専修専門科目」一覧にある「中学2種」欄の☆印8単位、及びA群より8科目8単位(ただし、「体つくり運動」・「器械運動」・「陸上競技」・「ダンス」・「武道」・「シーズン・スポーツ」の6科目6単位を必修、「球技A～C」の中から2科目2単位を選択とする)、及びB群より2科目4単位の計20単位以上を修得すること。加えて、中等保健体育科指導法A、B、C、D(計8単位)を修得すること。
中学校1種免許状「保健体育」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等保健体育科指導法A、B、C、D(計8単位)を修得すること。
高等学校1種免許状「保健体育」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等保健体育科指導法A、B、C、D(計8単位)を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
体育実技	◎体つくり運動		①				A群	X
〃	◎器械運動	①						X
〃	◎陸上競技	①						X
〃	◎ダンス	①						X
〃	○球技A	①						X
〃	○球技B		①					X
〃	○球技C		①					X
〃	○武道		①					X
〃	○シーズン・スポーツ(水泳・スキー)	①				集中講義		X
体育原理	◎体育原論	(②)	(②)				B群	X
〃	身体・スポーツ文化論		(②)	(②)	(②)			X
〃	体育学演習			②				X
体育心理学	◎体育心理学		(②)	(②)			B群	X
〃	体育心理学実験			①				X
〃	体育測定評価論			②				X
体育社会学	体育社会学			(②)	(②)		B群	X
衛生学及び公衆衛生学	衛生学(公衆衛生学を含む。)			②			☆	X
運動学	◎運動学(運動方法学を含む。)		②				☆	X
〃	運動方法実践研究A			(②)	(②)			X
〃	運動方法実践研究B			(②)	(②)			X
学校保健	◎学校保健(学校安全・救急処置・小児保健・精神保健を含む。)			②			☆	X
〃	発育発達論			(②)	(②)	隔年開講		X
生理学	生理学(運動生理学を含む。)			②			☆	X
〃	スポーツ医科学論			(②)	(②)	隔年開講		X
		合計14単位以上を修得						

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
体育実技	◎体つくり運動		①				A群	X
〃	◎器械運動	①						X
〃	◎陸上競技	①						X
〃	◎ダンス	①						X
〃	◎球技A	①						X
〃	◎球技B		①					X
〃	◎球技C		①					X
〃	◎武道		①					X
〃	◎シーズン・スポーツ(水泳・スキー)	①				集中講義		X
体育原理	◎体育原論	(②)	(②)				B群	X
〃	身体・スポーツ文化論		(②)	(②)	(②)			X
〃	体育学演習			②				X
体育心理学	◎体育心理学		(②)	(②)			B群	X
〃	体育心理学実験			①				X
〃	体育測定評価論			②				X
体育社会学	体育社会学			(②)	(②)		B群	X
衛生学及び公衆衛生学	◎衛生学(公衆衛生学を含む。)			②			☆	X
運動学	◎運動学(運動方法学を含む。)		②				☆	X
〃	運動方法実践研究A			(②)	(②)			X
〃	運動方法実践研究B			(②)	(②)			X
学校保健	◎学校保健(学校安全・救急処置・小児保健・精神保健を含む。)		(②)	(②)			☆	X
〃	発育発達論	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
生理学	◎生理学(運動生理学を含む。)		(②)	(②)			☆	X
〃	スポーツ医科学論			(②)	(②)	隔年開講		X
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

論　文	4単位

別表14:小学校コース／生活創造専修／ものづくりと情報分野
中学校コース／生活創造専修／技術分野

小学校コース・ものづくりと情報分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	14		本表の「専修専門科目」一覧中の、○印の付いた中の7科目14単位を修得すること(全て必修)。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・技術分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「技術」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	20	6	本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた10科目20単位を必修とし、及びそれ以外から6単位以上、計26単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「技術」	本表の「中等教科専門科目」一覧にある「中学2種」欄の7科目14単位を修得すること(全て必修)。加えて、中等技術科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「技術」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等技術科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
材料加工	○木材加工の基礎（実習を主とする）		②				X
〃	木材教育の方法			②			X
〃	木材加工応用実習			(②)	(②)		X
〃	○金属加工の基礎（実習を主とする）		②				X
機械・電気	○機械技術の基礎（実習を主とする）		②				X
〃	生産システム技術			②			X
〃	メカトロニクスと要素技術			(②)	(②)	隔年開講	X
〃	機械設計技術			(②)	(②)	隔年開講	X
〃	○電気技術の基礎（実習を主とする）	②					X
生物育成	○栽培技術の基礎（実習を主とする）	②					X
〃	栽培の理論と実践			②			X
〃	栽培環境	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	X
〃	栽培植物	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	X
情報とコンピュータ	○情報とコンピュータ（実習を主とする）	②					X
創造科目	○製図の基礎（実習を主とする）	②					X
〃	環境問題と技術		(②)	(②)	(②)		X
〃	ものづくりと教育		(②)	(②)	(②)		X
〃	ロボット制御基礎			(②)	(②)		X
〃	技術科教材開発論			(②)	(②)		
〃	技術科総合研究			(②)	(②)		
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
材料加工	◎木材加工の基礎（実習を主とする）		②				☆	X
〃	◎木材教育の方法			②				X
〃	木材加工応用実習			(②)	(②)			X
〃	◎金属加工の基礎（実習を主とする）		②				☆	X
機械・電気	◎機械技術の基礎（実習を主とする）		②				☆	X
〃	◎生産システム技術			②				X
〃	メカトロニクスと要素技術			(②)	(②)	隔年開講		X
〃	機械設計技術			(②)	(②)	隔年開講		X
〃	◎電気技術の基礎（実習を主とする）	②					☆	X
生物育成	◎栽培技術の基礎（実習を主とする）	②					☆	X
〃	◎栽培の理論と実践			②				X
〃	栽培環境	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
〃	栽培植物	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講		X
情報とコンピュータ	◎情報とコンピュータ（実習を主とする）	②					☆	X
創造科目	◎製図の基礎（実習を主とする）	②					☆	X
〃	環境問題と技術		(②)	(②)	(②)			X
〃	ものづくりと教育		(②)	(②)	(②)			X
〃	ロボット制御基礎			(②)	(②)			X
〃	技術科教材開発論			(②)	(②)			Z
〃	技術科総合研究			(②)	(②)			Z
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

論　文	4単位

別表15:小学校教員コース／生活創造専修／家庭科分野
中学校教員コース／生活創造専修／家庭科分野

小学校コース・家庭科分野の履修方法　　主免許……小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	2	48		
	初等教科専門科目	2	10		
	専修専門科目	本表	14		本表の「専修専門科目」一覧中の◎印の付いた7科目14単位を修得すること(全て必修)。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			23	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	2	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

中学校コース・家庭科分野の履修方法　　主免許……中学校教諭1種免許状「家庭」

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	3	36		
	中等教科専門科目	本表	26		本表の「中等教科専門科目」一覧中の、◎印の付いた13科目26単位を必修とし、計26単位以上を修得すること
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			33	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	3	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

※実際の履修に当たっては「Ⅲ．規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

中学校コースの学生以外は「応用実習Ⅱ」や「応用実習（中学校）」を修得すること。

中学校 2種免許状 「家庭」	本表の「中等教科専門科目」一覧中にある「中学2種」欄の中の7科目14単位を修得すること。加えて、中等家庭科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。
中学校 1種免許状 「家庭」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、計26単位以上を修得すること。加えて、中等家庭科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。 ※ただし、小学校コース／生活創造専修／家庭科分野以外の者が、中学校教諭1種免許状を取得する場合は、教科総合（家庭科）の家政学演習は修得の対象とはならない。
高等学校 1種免許状 「家庭」	本表の「中等教科専門科目」の履修方法に従い、26単位以上を修得すること。中等家庭科指導法A、B、C、D（計8単位）を修得すること。 ※ただし、小学校コース／生活創造専修／家庭科分野以外の者が、高等学校教諭1種免許状を取得する場合は、教科総合（家庭科）の家政学演習は修得の対象とはならない。

小学校コース用［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
家庭経営学	◎家庭経営学	②					X
〃	生活経済学		②				X
〃	消費生活論			②			X
被服学	◎被服学	②					X
〃	被服学実習		②				X
食物学	◎食物学	②					X
〃	食品栄養学		②				X
〃	食品栄養学実験			②			X
〃	◎調理実習	②					X
〃	調理科学		②				X
住居学	◎住居学A	②					X
〃	住居学B		②				X
〃	生活環境論			②			X
保育学	◎保育学		②				X
〃	子ども・子育て支援論		②				X
〃	生涯発達と家族			②			X
教科総合(家庭科)	家政学基礎実験		②				
〃	◎家政学演習（A～F）			2			
		合計14単位以上を修得					

中学校コース用［中等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	中学2種	教免法上の科目
家庭経営学	◎家庭経営学	②					☆	X
〃	◎生活経済学		②					X
〃	消費生活論			②				X
被服学	◎被服学	②					☆	X
〃	◎被服学実習		②				☆	X
食物学	◎食物学	②					☆	X
〃	◎食品栄養学		②					X
〃	食品栄養学実験			②				X
〃	◎調理実習	②					☆	X
〃	◎調理科学		②					X
住居学	◎住居学A	②					☆	X
〃	住居学B		②					X
〃	◎生活環境論			②				X
保育学	◎保育学	②					☆	X
〃	◎子ども・子育て支援論		②					X
〃	生涯発達と家族			(②)	(②)	隔年開講		X
教科総合(家庭科)	家政学基礎実験		②					Z
〃	◎家政学演習（A～F）			2				Z
		合計26単位以上を修得						

［卒業研究］

論　文	4単位

別表16:乳幼児教育コース

主免許……幼稚園教諭1種免許状、及び保育士資格

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	本表	37		
	初等教科専門科目	本表		3	本表の「教職専門科目・初等教科専門科目」一覧中の初等教科専門科目3単位が選択必修となる。 ※ここに記した科目全てと「初等社会科概説」・「初等理科概説」・「初等家庭科概説」・「初等英語科概説」は、副免許状として小学校教諭1種免許状を取得する際には必要となる。
	領域科目	本表	6		
	専修専門科目	本表	41	5	「専修専門科目」一覧中の◎印の付いた23科目41単位を必修とし、また○印の付いた8科目から表中の指示に従って5単位以上、計46単位以上を修得すること。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			4	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

幼稚園教諭1種・2種免許状	本コース以外の学生が幼稚園教諭1種あるいは2種免許状を取得する場合は、「Ⅲ. 規程に関する細則等」の(7)「副免許状取得にあたっての科目の履修について」の履修方法に従うこと。

［教職専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
教職概説	教職入門Ⅰ	②				全科目37単位必修	B
〃	教職入門Ⅱ		1				B
教育学	教育学概説A(本質)	②					A
〃	教育学概説B(制度)	②					C
教育心理学	教育心理学概説	②					D
特別支援教育	特別支援教育基礎論	*(①)	*(①)	*(①)			E
幼児教育	幼児教育課程論	②					f
〃	幼児教育方法		②				k
〃	幼児理解と教育相談			②			m・n
〃	保育内容「健康」		(②)	(②)		隔年開講	y
〃	保育内容「人間関係」		②				y
〃	保育内容「環境」		②				y
〃	保育内容「言葉」		(②)	(②)		隔年開講	y
〃	保育内容「表現」		②				y
〃	保育造形表現		②				y
〃	保育技術実践A			①			k
〃	保育技術実践B			①			k
教育実習	基礎実習		1				P
〃	応用実習Ⅰ			4			P
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)				②		Q

［初等教科専門科目］

初等教科専門	初等国語科概説	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)	3単位選択必修	
〃	算数科概説	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)		
〃	初等音楽科概説（A～D）	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)		
〃	図画工作科概説	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)		
〃	初等体育科概説	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)		
〃	生活科概説	(*①)	(*①)	(*①)	(*①)		

［領域科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
乳幼児教育	◎幼児と健康	*①				6単位必修	X
〃	◎幼児と人間関係	*①					X
〃	◎幼児と環境	*①					X
〃	◎幼児と言葉	*①					X
〃	◎幼児と音楽表現	*①					X
〃	◎幼児と造形表現	*①					X
計		合計6単位を修得					

［専修専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
乳幼児教育	◎保育表現実践		*①			◎印の8科目13単位必修	k
〃	◎保育音楽実践	②					k
〃	◎保育造形実践	*①					k
〃	◎保育体育実践	①					k
〃	◎乳幼児教育学			②			Z
〃	◎乳幼児心理学	②					Z
〃	◎障害児保育実践			②			Z
〃	◎乳幼児音楽学			②			Z
〃	○乳幼児教育研究A			①		○印の4科目の中から、2科目以上、合計2単位以上選択	Z
〃	○乳幼児教育研究B			①			Z
〃	○乳幼児教育研究C				①		Z
〃	○乳幼児教育研究D				①		Z
〃	◎子どもの保健A	②				◎印の12科目22単位必修	
〃	◎子どもの保健B		②				
〃	◎子どもの食と栄養		②				
〃	◎子ども家庭支援論			②			
〃	◎子育て支援			①			
〃	◎衛生学・公衆衛生学A	(②)	(②)				
児童福祉	◎社会福祉学概論	(②)	(②)			隔年開講	
〃	◎子ども家庭福祉論	(②)	(②)			隔年開講	
〃	◎社会的養護論		(②)	(②)		隔年開講	
〃	◎社会的養護内容実践			(②)	(②)	隔年開講	
〃	◎乳児保育概論		②				
〃	◎乳児保育実践		①				
保育実習	◎保育実習指導Ⅰ		2			◎印の3科目6単位必修	
〃	◎保育実習ⅠA（保育所）		2				
〃	◎保育実習ⅠB（施設）			2			
〃	○保育実習ⅡA（保育所）				2	○印の2科目から、いずれか1科目2単位を選択	
〃	○保育実習ⅡB（施設）				2		
〃	○保育実習指導ⅡA（保育所）				1	○印の2科目から、いずれか1科目1単位を選択	
〃	○保育実習指導ⅡB（施設）				1		
計		合計46単位を修得					

［卒業研究］

論　文	4単位

別表17:特別支援教育コース

主免許……特別支援学校教諭1種免許状及び小学校教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	本表	48		
	初等教科専門科目	本表	10		
	特別支援教育専門科目	本表	32	4	本表の「特別支援教育専門科目」一覧中の◎印の付いた15科目32単位を必修とし、それ以外より4単位以上、計36単位以上を修得すること。※特別支援教育コースに所属する者が、「特別支援教育基礎実習」と「特別支援教育応用実習」の単位を修得した場合、介護体験を経験したものと見なす。
	教職キャリア科目	19		6	
	選択科目			2	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

副免許状の取得

特別支援学校教諭1種・2種免許状	本コース以外の学生が特別支援学校教諭1種あるいは2種免許状を取得する場合は、「Ⅲ. 規程に関する細則等」の(7)「副免許状取得にあたっての科目の履修について」の履修方法に従うこと。

［教職専門科目・初等教科専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
教職概説	教職入門Ⅰ	②				全科目48単位必修	B
〃	教職入門Ⅱ		1				B
教育学	教育学概説A(本質)	②					A
〃	教育学概説B(制度)	②					C
〃	教育方法・課程論		②				F・K
〃	ICT活用の理論と実践	*①					L
〃	道徳教育論		②				G
〃	特別活動論	*①					J
教育心理学	教育心理学概説	②					D
〃	生徒・進路指導論		②				M・O
〃	教育相談		②				N
総合的な学習	総合的な学習指導法	*①					I
特別支援教育	特別支援教育基礎論	*(①)	*(①)	*(①)			E
教科指導法	初等国語科指導法		②				Y
〃	初等社会科指導法		②				Y
〃	算数科指導法		②				Y
〃	初等理科指導法		②				Y
〃	初等音楽科指導法		②				Y
〃	図画工作科指導法		②				Y
〃	初等体育科指導法		②				Y
〃	初等家庭科指導法		②				Y
〃	生活科指導法		②				Y
〃	初等英語科指導法		②				Y
教育実習	基礎実習		1				P
〃	応用実習Ⅰ			4			P
教職実践演習	教職実践演習（小・中・高）				②		Q
初等教科専門	初等国語科概説	*①				全科目10単位必修 ※　初等音楽科概説は、A～Dのうち、クラス指定された授業1科目を履修すること	X
〃	初等社会科概説	*①					X
〃	算数科概説	*①					X
〃	初等理科概説	*①					X
〃	初等音楽科概説（A～D）	*①					X
〃	図画工作科概説	*①					X
〃	初等体育科概説	*①					X
〃	初等家庭科概説	*①					X
〃	生活科概説	*①					X
〃	初等英語科概説	*①					X

［特別支援教育専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
基礎理論	◎特別支援教育概論		②				a
心理、生理、病理	◎障害児の心理生理学		(②)	(②)			b
〃	◎障害児のアセスメント			(②)	(②)		b
教育課程、指導法	◎障害児教育課程総論		②				b
〃	知的障害児指導法		(②)	(②)			b
心理・教育課程等	◎障害児の心理と指導	②					b
〃	特別支援教育演習ＩＡ			2		特別支援3年次生のみ A～Dの中から1科目を選択	a
〃	特別支援教育演習ＩＢ			2			b
〃	特別支援教育演習ＩＣ			2			b
〃	特別支援教育演習ＩＤ			2			b
〃	特別支援教育演習ⅡＡ				2	特別支援4年次生のみ A～Dの中から1科目を選択	a
〃	特別支援教育演習ⅡＢ				2		b
〃	特別支援教育演習ⅡＣ				2		b
〃	特別支援教育演習ⅡＤ				2		b
心理、生理、病理	◎肢体不自由児の生理病理学		(②)	(②)	(②)		b
〃	◎病弱児の心理生理学		(②)	(②)	(②)	病弱児指導法と隔年開講	b
教育課程、指導法	◎肢体不自由児指導法		(②)	(②)	(②)		b
〃	◎病弱児指導法		(②)	(②)	(②)	病弱児の心理生理学と隔年開講	b
免許状に定める領域以外の領域の科目	◎聴覚障害児教育総論		(②)	(②)	(②)	視覚障害児教育総論と隔年開講	c
〃	◎視覚障害児教育総論		(②)	(②)	(②)	聴覚障害児教育総論と隔年開講	c
〃	◎発達障害児の心理と指導		(②)	(②)	(②)	重度・重複障害児の心理と指導と隔年開講	c
〃	◎重度・重複障害児の心理と指導		(②)	(②)	(②)	発達障害児の心理と指導と隔年開講	c
教育実習	◎特別支援教育基礎実習		2				d
〃	◎特別支援教育応用実習			4			d
計		合計36単位を修得					

［卒業研究］

論　文	4単位

別表18:養護教諭養成課程

主免許……養護教諭1種免許状

		別表	必修	選択	注　意　事　項
教養・スキル・リテラシー科目		1	14	4	規定より多くの単位を修得した場合、合計6単位を上限として「選択科目」の単位とすることができる。
専門科目	教職専門科目	本表	36		
	養護教育専門科目	本表	49		「養護教育専門科目」一覧中の◎印の付いた26科目49単位を修得すること(全て必修)。
	教職キャリア科目	19		6	教科力向上科目以外から6単位以上を修得すること。
	選択科目			10	他学部のものを含めて選択科目扱いにできる全ての科目を指す。
	介護体験	本表	1		
	卒業研究	本表	4		
			合計124		

本課程学生の副免許状の取得

中学校1種免許状「保健」 高等学校1種免許状「保健」	本課程に所属する者が、副免許状として中学校教諭1種免許状「保健」、及び高等学校教諭1種免許状「保健」を取得するには、別表19の「基礎実習Ⅰ」1単位及び「応用実習(中学校)」4単位、及び「教職実践演習(中・高)」2単位を修得すること。
中学校1種、2種免許状「保健体育」	「Ⅲ. 規程に関する細則等」の「(7)副免許状取得にあたっての科目の履修について」に従うこと。

［教職専門科目・教職実践演習］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
教職概説	教職入門Ⅰ	②				全科目36単位必修	B
〃	教職入門Ⅱ		1				B
教育学	教育学概説A(本質)	②					A
〃	教育学概説B(制度)	②					C
〃	教育方法・課程論		②				F・K
〃	ICT活用の理論と実践	*①					L
〃	道徳教育論		②				ヌ・G
〃	特別活動論	*①					ヌ・J
教育心理学	教育心理学概説	②					D
〃	生徒・進路指導論		②				M・O
〃	教育相談		②				N
総合的な学習	総合的な学習指導法	*①					ヌ・I
特別支援教育	特別支援教育基礎論	*(①)	*(①)	*(①)			E
教科指導法	保健科指導法A		②				Y
〃	保健科指導法B		②				Y
〃	保健科指導法C			②			Y
〃	保健科指導法D			②			Y
養護実習	養護教諭基礎実習		1				ル
〃	養護教諭応用実習			4			ル
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)				②		Q

［養護教育専門科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
衛生学及び公衆衛生学	◎衛生学・公衆衛生学A	②					イ・X
〃	◎衛生学・公衆衛生学B（予防医学を含む）		②				イ・X
〃	◎健康行動論	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	イ・X
学校保健	◎学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む）		②				ロ・X
〃	◎学校保健活動論			(②)	(②)		ロ・X
〃	◎学校保健調査法			(②)	(②)		ロ・X
〃	小児保健学	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	ロ・X
〃	◎発育発達論	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	ロ・X
〃	学校保健研究A			(①)	(①)	隔年開講	ロ・X
〃	学校保健研究B			(①)	(①)	隔年開講	ロ・X
〃	学校保健研究C			(①)	(①)	隔年開講	ロ・X
〃	学校保健研究D			(①)	(①)	隔年開講	ロ・X
〃	特別支援教育概論		(②)	(②)	(②)		ロ・X
養護概説	◎養護概説	②					ハ
〃	◎養護活動論		②				ハ
健康相談活動の理論と方法	◎健康相談活動論			②			ニ
〃	健康相談活動演習			①			ニ
栄養学(食品学を含む)	◎栄養学(食品学を含む)		(②)	(②)	(②)		ホ・X
解剖学及び生理学	◎解剖生理学A	②					ヘ・X
〃	◎解剖生理学B	②					ヘ・X
〃	◎解剖生理学実習	(①)	(①)				ヘ・X
〃	◎スポーツ医学	(②)	(②)	(②)	(②)		ヘ・X
微生物学、免疫学、薬理概論	◎薬理概論		(②)	(②)	(②)		ト・X
〃	◎微生物学（免疫学を含む）	(②)	(②)	(②)	(②)	隔年開講	ト・X
精神保健	◎精神保健		②				チ・X
看護学	◎学校看護学			②			リ
〃	◎救急処置		②				リ・X
〃	◎学校看護学実習			①			リ
〃	◎救急処置実習		①				リ・X
〃	◎一次救命処置と救命教育実習Ⅰ		(②)	(②)			リ・X
〃	一次救命処置と救命教育実習Ⅱ			(②)	(②)		リ・X
〃	◎臨床医学概説A		(②)	(②)	(②)		リ
〃	◎臨床医学概説B		(②)	(②)	(②)		リ
〃	◎臨床実習			②			リ
福祉	社会福祉学概論		(②)	(②)	(②)	隔年開講	Z
〃	児童福祉論		(②)	(②)	(②)	隔年開講	Z
		合計49単位以上を修得					

［卒業研究］

論　文	4単位

［介護体験］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考
介護体験	介護体験実地		1			

別表19：学部共通科目(「教職キャリア科目」など)

①「教職キャリア科目」については、全ての学生が6単位以上を修得すること。ただし、中学校コース、乳幼児教育コース、養護教諭養成課程の学生、及び小学校コース、特別支援教育コースの学生が中学校教諭1種免許状あるいは高等学校1種免許状を取得する場合は、「教科力向上科目」以外から6単位以上修得すること。

②「教職キャリア科目」に載せられている授業科目と、各専修・分野の「専修専門科目」もしくは「中等教科専門科目」に載せられている同名の(あるいは同時開講)授業科目は、所属専修・分野の学生の場合、「専修専門科目」、「中等教科専門科目」となる。

［教職キャリア科目］

科　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　考	教免法上の科目
参加的・実践的学習科目	学校フィールド・スタディⅠ		(2)	(2)	(2)		Z
〃	学校フィールド・スタディⅡ			(2)	(2)		Z
〃	学校フィールド・スタディⅢ				2		Z
〃	不登校等児童生徒支援スタディ		②				Z
〃	ミュージアム・コラボレーションA	2					Z
〃	ミュージアム・コラボレーションB		2				Z
〃	ミュージアム・コラボレーションC			2			Z
〃	ミュージアム・コラボレーションD				2		Z
現代的教育課題科目	教育史概論		(②)	(②)	(②)	教育学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	教育における臨床の知	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	教材づくりと授業展開	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	学校・地域とカリキュラム編成	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	教師の成長と教師教育	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	メディアと学習支援	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	発達心理学概論	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講　隔年開講	Z
〃	カウンセリング概論	(②)	(②)	(②)	(②)	心理・教育実践学専修の同名の授業科目と同時開講　隔年開講	Z
〃	木の学校・木の教育	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	スクールガーデニング		(②)	(②)	(②)		Z
〃	子どもの健康・安全・危機管理Ⅰ	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	心肺蘇生法と児童生徒への救命教育Ⅰ		(②)	(②)		養護教育専門科目一次救命処置と救命教育実習1と同時開講	Z
〃	心肺蘇生法と児童生徒への救命教育Ⅱ			(②)	(②)	養護教育専門科目一次救命処置と救命教育実習IIと同時開講	Z
〃	多文化共修入門	*①					Z
社会教育科目	社会教育学概論A	②				教育学専修の同名の授業科目と同時開講	Z
〃	学校経営と学校図書館	(②)	(②)	(②)	(②)	学校図書館司書教諭講習規程の科目に相当する科目として開講	Z
〃	学校図書館メディアの構成	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	学習指導と学校図書館	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	読書と豊かな人間性	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
〃	情報メディアの活用	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
教育総合科目	人間と芸術	(②)	(②)	(②)	(②)		Z
キャリア形成科目	キャリア形成科目Ⅰ(教師基礎力養成演習)			②			Z
〃	キャリア形成科目Ⅱ(教師力向上ケーススタディ演習Ⅰ)				②		Z
〃	キャリア形成科目Ⅲ(教師力向上ケーススタディ演習Ⅱ)				①		Z
教科力向上科目	自然観察入門	②				集中講義	Z（小）
〃	日本史教育と日本史研究			(②)	(②)	社会専修「日本史学特講C」と同時開講　隔年開講	Z（小）
〃	歴史と異文化理解		(②)	(②)	(②)		Z（小）

［コース・課程関係教育実習等科目］

科　　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　　考	教免法上の科目
教育実習	応用実習Ⅱ				2		P
〃	応用実習(中学校)				4	乳幼児教育コース用	P
〃	乳幼児教育基礎実習(副免)			1		乳幼児教育コース以外	P
〃	応用実習(幼稚園)				2	小学校コース、特別支援教育コース用	P
〃	応用実習(幼稚園)				4	中学校コース用	P
〃	特別支援教育基礎実習(副免)			1		特別支援教育コース以外用	d
〃	特別支援教育応用実習(副免)				2	特別支援教育コース以外用	d
〃	基礎実習Ⅰ			1		養護教諭養成課程用	P
〃	応用実習(中学校)				4	養護教諭養成課程用	P
教職実践演習	教職実践演習(中・高)				②	養護教諭養成課程用	Q

［共通選択科目］

科　　目	授　業　科　目	1年	2年	3年	4年	備　　考
選択科目	自然災害と防災教育	(②)	(②)	(②)	(②)	学部間連携科目(工学部)
〃	世界音楽の旅A	(②)	(②)	(②)	(②)	
〃	世界音楽の旅B	(②)	(②)	(②)	(②)	
〃	洋楽受容史	(②)	(②)	(②)	(②)	

別紙

別表の「教免法上の科目」欄については、以下のように「教育職員免許法施行規則」第２条、第３条、第４条、第５条、第７条、第９条の省令科目等に対応する。

「教科及び教科の指導法に関する科目」
Ｘ……「教科に関する専門的事項」
Ｙ……「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」
Ｚ……「大学が独自に設定する科目に関する科目」

（教育職員免許法施行規則第2条、第3条、第4条、第5条関係）
「領域及び保育内容の指導法に関する科目」
ｘ……「領域に関する専門的事項」
ｙ……「保育内容の指導法」（情報機器及び教材の活用を含む。）
「教育の基礎的理解に関する科目」
Ａ……「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」
Ｂ……「教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）」
Ｃ……「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」
Ｄ……「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」
Ｅ……「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」
Ｆ……「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」
ｆ……「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」
「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」
Ｇ……「道徳の理論及び指導法」
Ｉ……「総合的な学習の時間の指導法」（小中）「総合的な探究の時間の指導法」（高）
Ｊ……「特別活動の指導法」
Ｋ……「教育の方法及び技術」
Ｌ……「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」
Ｍ……「生徒指導の理論及び方法」
Ｎ……「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」
Ｏ……「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」
ｋ……「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」
ｍ……「幼児理解の理論及び方法」
ｎ……「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」
「教育実践に関する科目」
Ｐ……「教育実習」
Ｑ……「教職実践演習」

（教育職員免許法施行規則第７条関係）
ａ……「特別支援教育の基礎理論に関する科目」
ｂ……「特別支援教育領域に関する科目」
ｃ……「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」
ｄ……「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」

（教育職員免許法施行規則第９条関係）
「養護に関する科目」
イ…… 衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）
ロ…… 学校保健
ハ…… 養護概説
ニ…… 健康相談活動の理論・健康相談活動の方法
ホ…… 栄養学（食品学を含む。）
ヘ…… 解剖学・生理学
ト……「微生物学、免疫学、薬理概論」
チ…… 精神保健
リ…… 看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）
「教育の基礎的理解に関する科目」
Ａ……「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」
Ｂ……「教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）」
Ｃ……「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」
Ｄ……「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」
Ｅ……「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」
Ｆ……「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」
「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」
ヌ……「道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容」
Ｋ……「教育の方法及び技術」
Ｌ……「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」
Ｍ……「生徒指導の理論及び方法」
Ｎ……「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」
「教育実践に関する科目」
Ｑ……「教職実践演習」
ル……「養護実習」

教員の養成に係る授業科目（理学部）

４－１．基礎資格と所要単位数

教育職員免許法により中学校、高等学校の教員免許状を取得するには、次の基礎資格と単位の修得が必要である。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	教科及び教職に関する科目
中学校教諭１種免許状	学士の学位を有すること。	５９
高等学校教諭１種免許状		５９

４－２．理学部学生が取得できる免許状の種類

中学校教諭１種免許状（数学・理科）　　高等学校教諭１種免許状（数学・理科）

（数学科の学生は数学免許状、数学科以外の学生は理科免許状を取得することができる。）

４－３．単位の修得方法

① 教科及び教職に関する科目のうち、教科に関する専門的事項（以下「教科に関する科目」という。）次の表に該当する科目を、各学科の「理工系基礎教育科目」、「理学部専門基礎科目」、「学科専門科目」のうちから修得すること。（備考の欄の「教科」は、教育職員免許法上の教科専門科目の指定科目を示す。）

免許教科	中学校教諭１種免許状			高等学校教諭１種免許状		
	科目区分（教科に関する科目）	必要単位数		科目区分（教科に関する科目）	必要単位数	
数　　学	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	１単位 １単位 １単位 １単位 １単位	計 23	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	１単位 １単位 １単位 １単位 １単位	計 31
理　　科	物理学 化　学 生物学 地　学 物理学実験・化 学 実 験・ 生物学実験・地 学 実 験	１単位 １単位 １単位 １単位 各１単位	計 23	物理学 化　学 生物学 地　学 「物理学実験、化 学 実 験、 生物学実験、地 学 実 験」	１単位 １単位 １単位 １単位 いずれか１単位	計 31

［注意］１）中学校教諭１種免許状取得希望者は、それぞれ１単位以上計２３単位以上、高等学校教諭１種免許状取得希望者は、それぞれ１単位以上計３１単位以上を修得すること。

２）上の表中の「　」内に表示された科目については、何れか１科目以上の単位を修得すること。すなわち、中学校理科の免許取得のためには4種類の実験全ての単位が必要だが、高校理科の場合は4種類の中から1科目の単位があればよい。

３）本学部に所属の免許教科「理科」取得希望者は、次頁の表中の所属学科が指定している科目の単位を修得すること。ただし、高等学校教諭１種免許状のみの取得希望者は、所属学科の「学科専門科目」の必修科目により実験科目（次頁※印の科目）が充足されるため、他の実験科目の単位を修得する必要はない。

各学科の指定科目について（免許教科「理科」）

学科名 科目区分	物理学科	基礎化学科	分子生物学科	生体制御学科
物理学	力学Ⅰ ○ 振動・波動 ○	基礎化学物理Ⅰ ○ 基礎化学物理Ⅱ ○	力学基礎 ○	力学基礎 ○
物理学実験※	物理学実験Ⅰ ○	基礎物理学実験Ａ	基礎物理学実験Ｂ	基礎物理学実験Ｃ
化学	化学基礎 ○	物理化学Ⅱ ○ 物理化学Ⅲ ○ 物理化学Ⅳ ○	生物物理化学 ○	有機化学Ⅰ （基礎化学科開講）
化学実験※	化学実験Ａ	化学基礎実験Ⅰ ○ 化学基礎実験Ⅱ ○	基礎生化学実験 ○	化学実験Ｂ
生物学	生物学基礎 ○	生物学基礎	分子生物学概説 ○	生体制御学
生物学実験※	生物学実験Ａ	生物学実験Ｂ	基礎生物学実験 ○	基礎生体制御学実験 ○
地学	地学概論 （生体制御学科開講）	地学概論 （生体制御学科開講）	地学概論 （生体制御学科開講）	地学概論
地学実験※	地学実験 （分子生物学科開講）	地学実験 （分子生物学科開講）	地学実験	地学実験 （分子生物学科開講）

○印は各学科の必修科目を示す。
※印は前頁［注意］３）を参照すること。

② 教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目
次の表に該当する科目を教養・スキル・リテラシー科目から修得すること。

科目区分	授業科目名	最低単位数
日本国憲法	市民と憲法	２単位
体育	スポーツ実技	２単位
外国語コミュニケーション	外国語科目	２単位
情報機器の操作	数理データサイエンス基礎	２単位

③ 教科及び教職に関する科目のうち、教職に関する科目
次頁の表に該当する科目を全て修得すること。

教職に関する科目

免許法施行規則等に定める科目区分等		中学校教諭１種免許状		高等学校教諭１種免許状		修得年次
		左記に対応する教育学部開設授業科目(理学部向)	単位	左記に対応する教育学部開設授業科目(理学部向)	単位	
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	数学科指導法Ａ 数学科指導法Ｂ 数学科指導法Ｃ 数学科指導法Ｄ	2 2 2 2	数学科指導法Ｃ 数学科指導法Ｄ	2 2	2～
		理科指導法Ａ 理科指導法Ｂ 理科指導法Ｃ 理科指導法Ｄ	2 2 2 2	理科指導法Ｃ 理科指導法Ｄ	2 2	2～
教育の基礎的理解に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説A（本質）	2	教育学概説A（本質）	2	1～
	(2)教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門Ⅰ	2	教職入門Ⅰ	2	1～
		教職入門Ⅱ	1	教職入門Ⅱ	1	2～
	(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育学概説B（制度）	2	教育学概説B（制度）	2	1～
	(4)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説	2	教育心理学概説	2	1～
	(5)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	1	特別支援教育基礎論	1	2～
	(6)教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育方法・課程論 （(10)と合わせて開講）		教育方法・課程論 （(10)と合わせて開講）		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	(7)道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2			2～
	(8-中)総合的な学習の時間の指導法 (8-高)総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習指導法	1	総合的な学習指導法	1	2～
	(9)特別活動の指導法	特別活動論	1	特別活動論	1	1～
	(10)教育の方法及び技術	教育方法・課程論	2	教育方法・課程論	2	2～
	(11)情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と実践	1	ICT活用の理論と実践	1	1～
	(12)生徒指導の理論及び方法 (13)進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	生徒・進路指導論	2	2～
	(14)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	教育相談	2	2～
教育実践に関する科目	(15)教育実習	基礎実習（事前指導） 基礎実習（事後指導）	1	基礎実習（事前指導） 基礎実習（事後指導）	1	3 4
		応用実習Ⅰ	4	応用実習Ⅱ	2	4
	(16)教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	教職実践演習（中・高）	2	4
計			36		28	

［注意］１）各科目は、「修得年次」以降に履修すること。教育実習を受けるまでに、教職実践演習および教育実習以外の科目を全て修得しておくことが望ましい。
２）「各教科の指導法」に関する科目は、取得しようとする免許教科毎に修得するものとする。
３）「道徳の理論及び指導法」に関する科目は、高等学校教諭免許状取得の場合は必要としない。
４）中学校と高等学校教諭免許状の両方を取得する者の教育実習は、「応用実習Ⅰ」を修得すればよい。

４－４．教職実践演習

教育職員免許状を取得するには１年次より「**履修カルテ**」の作成が義務づけられており、４年次に**教職実践演習**を受講しなければならない。

履修カルテを理学部の学生窓口より教育職員免許状取得希望者に配付する。提出のタイミングや提出先は教職志望者に都度連絡する。

４－５．教育実習

教育実習（応用実習Ⅰ及びⅡ）は原則として出身中学校または高等学校で行うこととし、教育実習（中学校４単位、高等学校２単位）の費用は、自己負担となるので留意すること。詳細はWebClass等をとおして教職志望者に追って連絡する。教育実習を希望する者は、原則として**実習前年度（３年次４月時点）**において、実習を希望する教科および学校種が取得要件に定める科目のうち、下表の単位を修得済みであることを申込み時の条件とする。

科目／学科		数学科	物理学科	基礎化学科	分子生物学科	生体制御学科
教養・スキル・リテラシー科目	外国語	「英語」を６単位以上　（留学生の場合は「日本語」でも可）				
	「市民と憲法」	２単位				
	「スポーツ実技」	２単位				
	「数理データサイエンス基礎」	２単位				
専門科目	講義・演習	１・２年次の必修科目及び選択必修科目を併せて３４単位以上	１・２年次必修科目１７単位以上	１・２年次必修科目３０単位以上	２年次終了時点に卒業要件科目３８単位以上	２年次終了時点に卒業要件科目２２単位以上
	実験		「物理学実験Ⅰ」３単位	「化学基礎実験Ⅰ」２単位 「化学基礎実験Ⅱ」２単位	「基礎生物学実験」３単位 「基礎生化学実験」３単位	「基礎生体制御学実験」３単位 「生体制御学実験Ⅰ」３単位
卒業要件科目単位数合計		２年次終了時点で６２単位以上				
教職に関する科目		２年次終了時点で１５単位以上				

４－６．介護等体験

中学校教諭免許状取得希望者は、特別支援学校、社会福祉施設、その他の施設において、障がい者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を７日以上行わなければならない。埼玉県内で介護等体験を行うのが原則であり、**２年次に申請し、３年次で実施**する。また、原則として体験前年度（２年次４月時点）において、下表の単位を修得済みであることを申し込み時の条件とする。なお、介護等体験の申し込みは実施前年度の１２月に行う。詳細はWebClass等をとおして教職志望者に追って連絡する。

科目／学科	数学科	物理学科	基礎化学科	分子生物学科	生体制御学科
教養・スキル・リテラシー科目				１年次終了時点に卒業要件科目３０単位以上	１年次終了時点に卒業要件科目３０単位以上
専門科目	１年次必修科目１２単位以上	１年次必修科目６単位以上	１年次必修科目２０単位以上		
教職に関する科目	４単位以上				

【注意】介護等体験、教育実習を受講するにあたり、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険の両方に加入する必要がある。

6. 大学院科目の履修

履修可能な大学院科目については、別途通知する。

7. 教育職員免許状の取得について

応用化学科は、教育職員免許の課程認定を受けており、取得できる免許及び必要単位数は以下の通りである。なお、修得した単位のうち、スポーツ実技、理科指導法Ａ～Ｄ、及び教育の基礎的理解に関する科目等については、卒業要件単位として認められない。

所要資格、修得単位数等

所要資格及び単位 ＼ 免許状種類	基礎資格	最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目
中学校教諭１種免許状（理科）	学士の学位を有する	２８	３	２８
高等学校教諭１種免許状（理科）		２４	１１	２４

※上記の他に「教育職員免許法施行規則」に定める下記の科目について修得すること。

教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する科目及び単位数	
科目名	単位	科　　目	単位
日本国憲法	2	市民と憲法	2
体育	2	スポーツ実技（※卒業要件には含まれない）	2
外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	1	英語Ⅰ(General English Skills 1a)	左記のいずれかの科目から２単位以上必修
		英語Ⅰ(General English Skills 1b)	
		英語Ⅰ(Academic Communication Skills 1a)	
		英語Ⅰ(Academic Communication Skills 1b)	
		英語Ⅰ(Academic Essay Writing 1a)	
		英語Ⅰ(Academic Essay Writing 1b)	
		英語Ⅰ(English for Specific Purposes 1a)	
		英語Ⅰ(English for Specific Purposes 1b)	
		英語Ⅰ(Basic English 1a)	
		英語Ⅰ(Basic English 1b)	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報基礎	2

教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める次の表の左の教科に関する科目について、右の開設科目を、必修科目を含めて教科に関する科目毎に１単位以上、中学校教諭１種免許状は２８単位以上、高等学校教諭１種免許状は２４単位以上修得すること。

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数	備考
教科及び	教科に関	物理学	力学基礎	2	必修
			電磁気学基礎	2	必修
		物理学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ活用を含む)	基礎物理学実験Ｃ	1	必修(注)

教科の指導法に関する科目	する専門的事項	化学	環境化学基礎	2	必修
			物理化学Ⅰ	2	必修
			物理化学Ⅱ	2	
			物理化学Ⅲ	2	
			有機化学Ⅰ	2	必修
			有機化学Ⅱ	2	
			有機化学Ⅲ	2	
			無機化学Ⅰ	2	必修
			無機化学Ⅱ	2	
			量子化学	2	
			有機材料化学	2	
			分析化学Ⅰ	2	必修
			分析化学Ⅱ	2	
		化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ活用を含む)	応用化学実験Ⅰ	3	必修(注)
			応用化学実験Ⅱ	3	
			応用化学実験Ⅲ	3	
		生物学	生物学基礎	2	必修
		生物学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ活用を含む)	生物学実験Ｂ	1	必修(注)
		地学	地学概論	2	必修
		地学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ活用を含む)	地学実験	1	必修(注)
		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む※	理科指導法Ａ	2	
			理科指導法Ｂ	2	
			理科指導法Ｃ	2	
			理科指導法Ｄ	2	

※中学校教諭１種免許状のみ、又は中学校・高等学校教諭１種免許状の両方を取得する場合の「各教科の指導法」は、「理科指導法Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」を修得すること。なお、高等学校教諭１種免許状のみを取得する場合は、「理科指導法Ｃ・Ｄ」だけを修得すればよい。

備考欄に(注)表記のある科目は、中学校教諭１種免許状のみ、又は中学校・高等学校教諭１種免許状の両方を取得する場合はすべて修得すること。なお、高等学校教諭１種免許状のみを取得する場合には、(注)表記のある科目のうち「応用化学実験Ⅰ」だけを修得すればよい。

大学が独自に設定する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、最低修得単位数を超えて修得した単位数が、中学校教諭１種免許状については３単位以上、高等学校教諭１種免許状については１１単位以上となるように修得すること。

教育の基礎的理解に関する科目（卒業要件には含まれない）

中学校・高等学校教諭１種免許状について、次の表に該当する科目を全て修得すること。

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭１種免許状 高等学校教諭１種免許状			修得年次
		左記に対応する教育学部開設科目	中学	高校	
教育の基礎的理解に関	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説Ａ（本質）	2	2	1

する科目	教職の意義及び教員の役割、職務内容（チーム学校運営への対応を含む）	教職入門Ⅰ	2	2	1
		教職入門Ⅱ	1	1	3
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）	教育学概説Ｂ（制度）	2	2	1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説	2	2	1
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	1	1	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育方法・課程論	2	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2		2
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習指導法	1	1	2
	特別活動の指導法	特別活動論	1	1	1
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT 活用の理論と実践	1	1	3
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	2	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	教育相談	2	2	2
教育実践に関する科目	教育実習	基礎実習	1	1	3
		応用実習Ⅰ（中又は中・高）	4		4
		応用実習Ⅱ（高のみ）		2	4
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	2	4
計			28	24	

注意

（１）各科目は、「修得年次」以降に履修すること。ただし教育実習以外の科目は、教育実習を受ける前年度までに全て履修しておくこと。なお、教職実践演習は、４年次に履修すること。

（２）道徳教育論は、高等学校教諭１種免許状のみを取得する場合は必要としない。

（３）中学校教諭１種免許状のみ、又は中学校・高等学校教諭１種免許状の両方を取得する場合の「教育実習」は、「応用実習Ⅰ」だけを修得すればよい。なお、高等学校教諭１種免許状のみを取得する場合は、「応用実習Ⅱ」だけを修得すればよい。

その他教職に関する事項ついて

一．履修カルテについて

教職実践演習の講義が４年次に必修となっているが、履修するためには１年次より「履修カルテ」を作成する必要がある。履修カルテは工学部係窓口で配布する。

二．介護等体験

中学校教諭１種免許状を取得する者は、特別支援学校、社会福祉施設等において障がい

者、高齢者等に対する介護等の体験を７日以上行わなければならない。手続きは２年次で行い３年次で実施する。

三．教育実習

３年次終了までに履修要件を満たしていること。実習にかかる費用は自己負担となる。

四．その他

教育職員免許状取得に関する書類配布、各種手続き、実施時期等については、全てCAMPUS SQUARE 等を通じて周知するので、希望者は確認漏れのないよう十分注意すること。